



オーク狩り女剣士と最愛の年下少年の秘密

ベッドと女剣士を 壊す求愛

作・福うに

ちやんと
見せて？

出来るだけ
壊しすぎるから

言は
ないよ...

ク!



私の名は
ファイリア

わあ
あ



自他共に認める
優秀な剣士だったが
もうダメだろう

さようなら

何やってんだ
馬鹿ッ!!

ヴェネト!
なんでここに!?





後でヴィクに
叱られるんだ!

他の人の
説教は聞かない!

叱られる自覚は
あるんだな!



やめてくれ!

いつも言ってるが
計画ってものは...

まーたヴィクの
言いつけ破って
敵を深追いしたな!?



そんじゃあ
飛ぶぞ!

飛ぶ!?





俺の頑丈さに
感謝しろよ？

悔しいけど
感謝する…



たまたま

たまたまって
回数じゃないだろ！



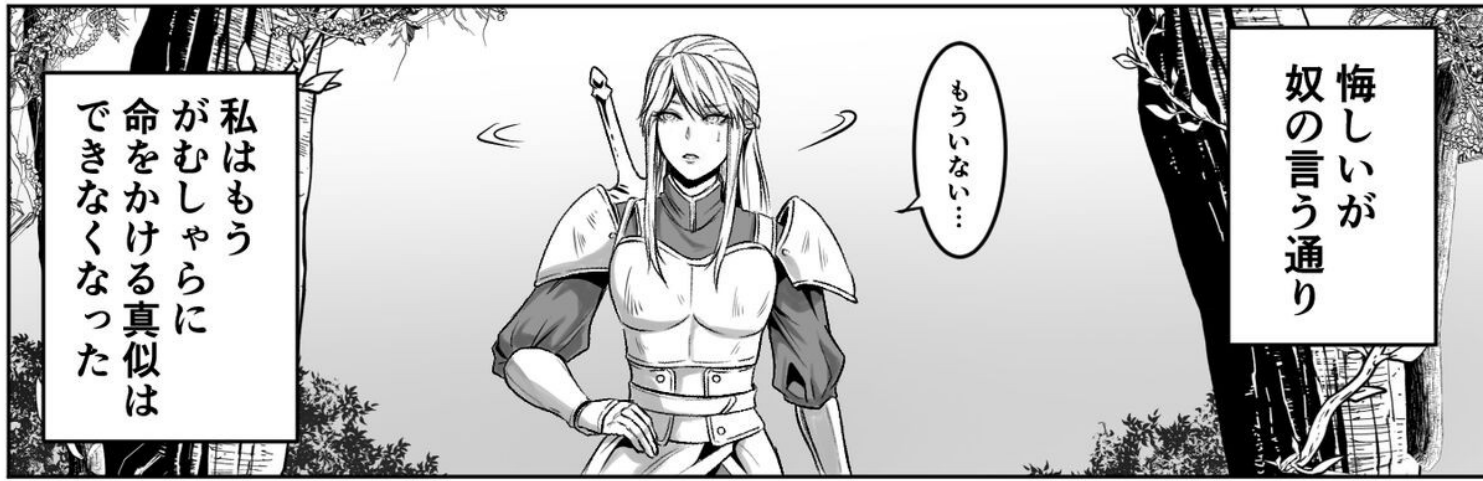
で、何でお前まで
こっちの大陸に
渡って来たんだ！？

いつも
戦闘中に現れて
ストーカーオークに
なっちゃったのか！？



じゃあな！
ヴィクの為にも
命は大事にしろよ

あっ！
待てッ！



悔しいが
奴の言う通り

もういない…

私はもう
がむしゃらに
命をかける真似は
できなくなった



おかえりなさい！

アアッ！

ヴィクという
恋人が
出来たから

魔物に襲われていた
彼を助けたのが
出会いだった

行き場がないからと
私の修行の旅に
同行する事になった

戦いは不得手

その代わり
あらゆる形で
私を支えてくれた

次に討伐する
魔物の資料です

お……

そしてある時

自分の
恋愛経験の無さ
歳の差……

戸惑いもしたが
私は彼を
受け入れた



また敵を深追い
しましたね!?

ごめんなさい!

見過ごせない
危険な魔物が
いたのでつい……!



これが依頼品の
魔物の角だ

わう!
すごい!
この量は……



?

ちらっ……



なるほど……
確かにコレの
持ち主の情報
ありませんでしたね

しっかりと
追加報酬を
請求しましょう



しっかりと
とても
愛らしい

私の恋人



無事で良かった……!

だけど
ヴェイクには
秘密がある



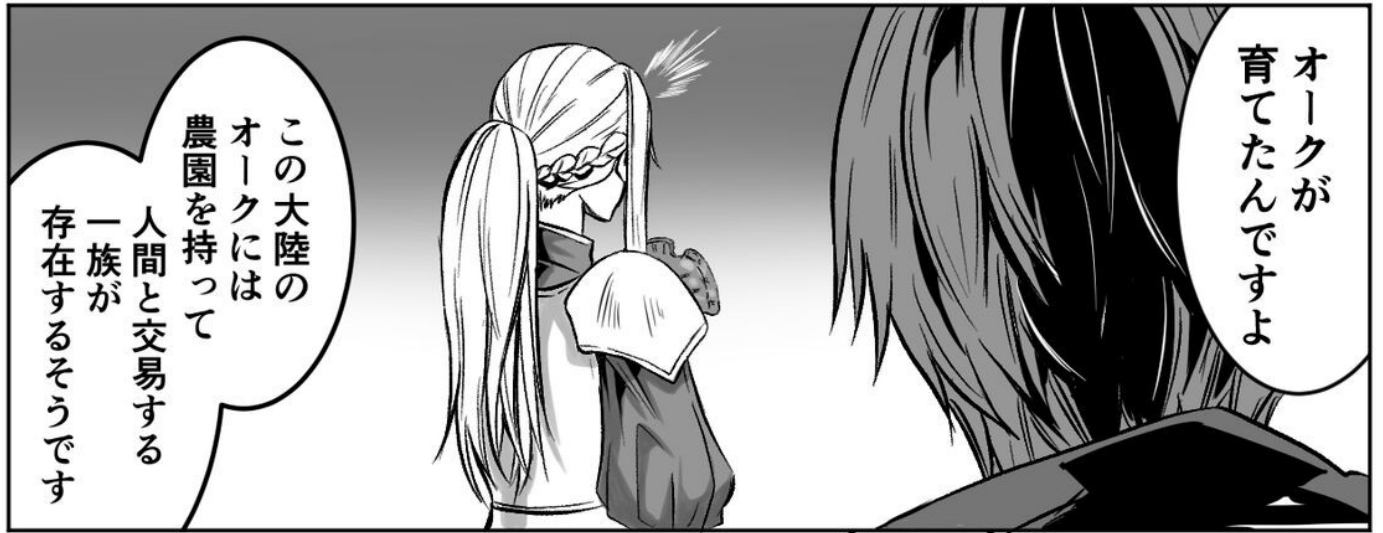
良かった！
そのリンゴ…

美味しい！



あ、そうだ！
体力回復になればと
買っておきました

アップルパイ！！



オークが
育てたんですよ

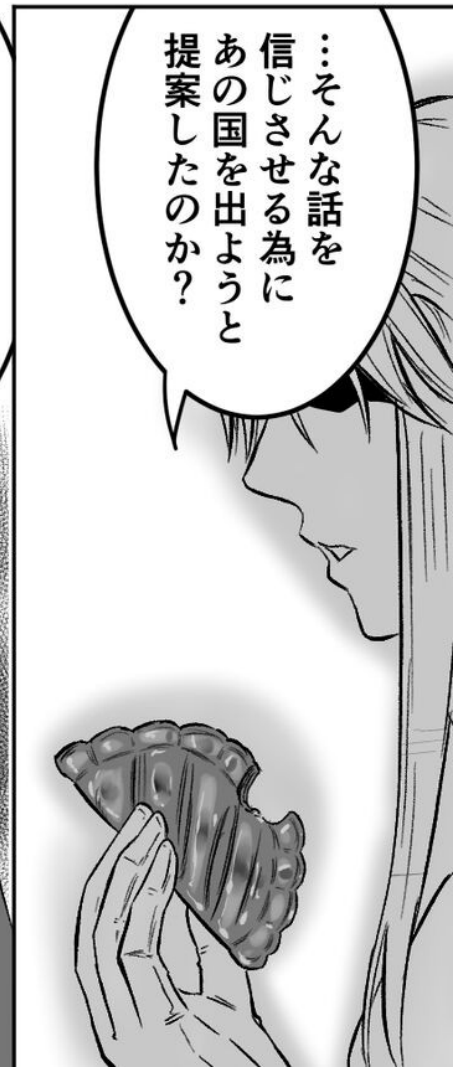
この大陸の
オークには
農園を持って

人間と交易する
一族が
存在するそうです



いいえ？
僕達の間係を
より良くする為です

その秘密は
まだ明かしては
くれない



…そんな話を
信じさせる為に
あの国を出ようと
提案したのか？

え？
ヴェネトが？

あいつもこっちの
大陸に渡って
来たみたいだ

私達と、
ほぼ同時だな

良かったんじゃ
ないですか？

いつも助けてくれる
味方のオークでしょう



さすがに
おかしいと
思わないか？

今までだって
偶然以上に
会ってきいていたが…





すみません

フィリアの香りを
感じたら
興奮してきた
しまって…



!!
ヴィク!

ギョッ



待てません

香りって…
それは汗だ!

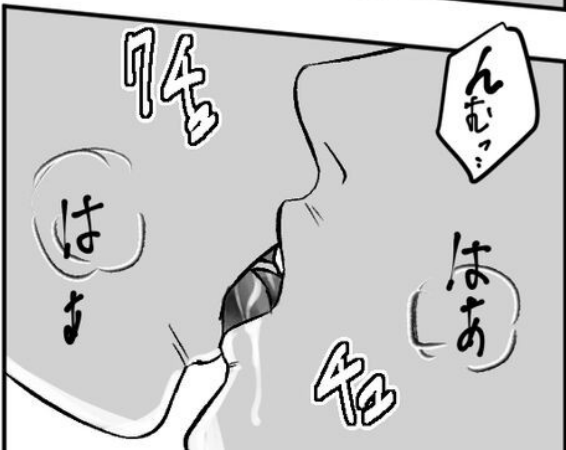
まだ身体も
拭いてないから
待ってくれ!

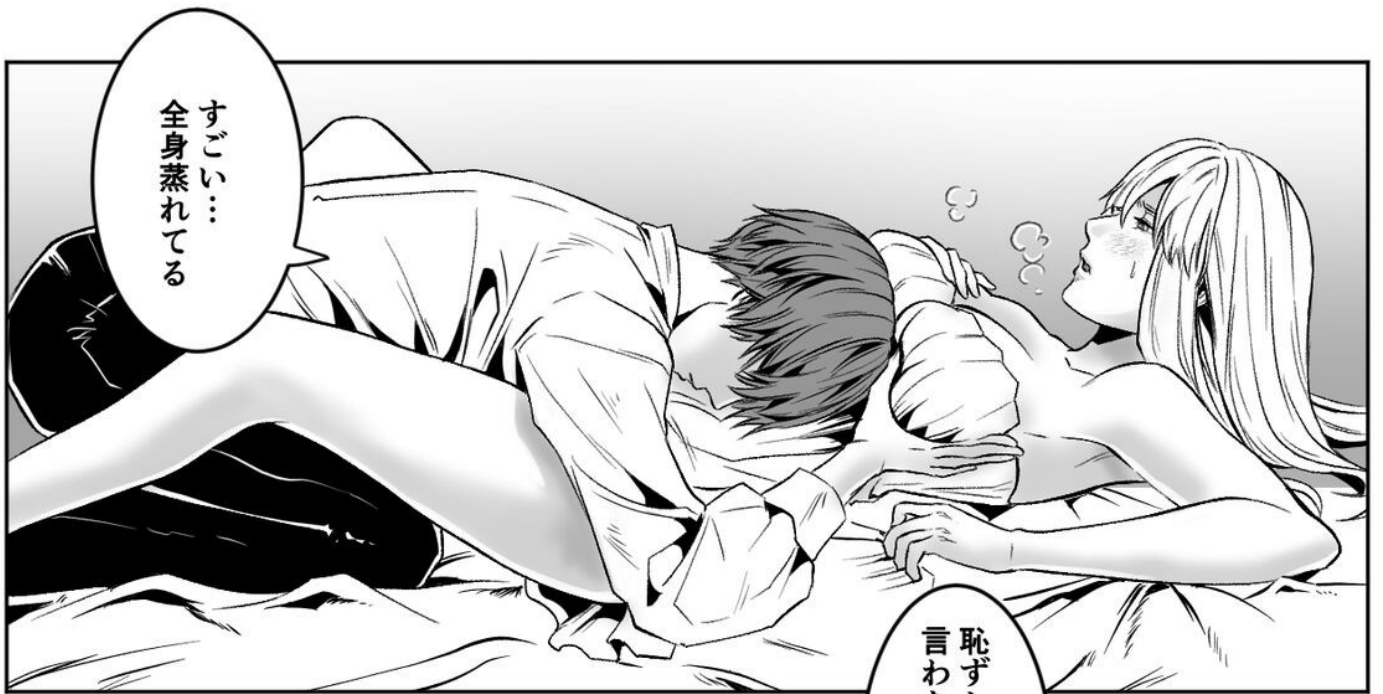
フィリアの
汗の匂い
大好きなんです



今日こそ
いいですか...?

...もちろん





すごい…
全身蒸れてる

恥ずかしいから
言わないでくれ…!



あっ
こっちも
すごい

はーあ…
はーあ…

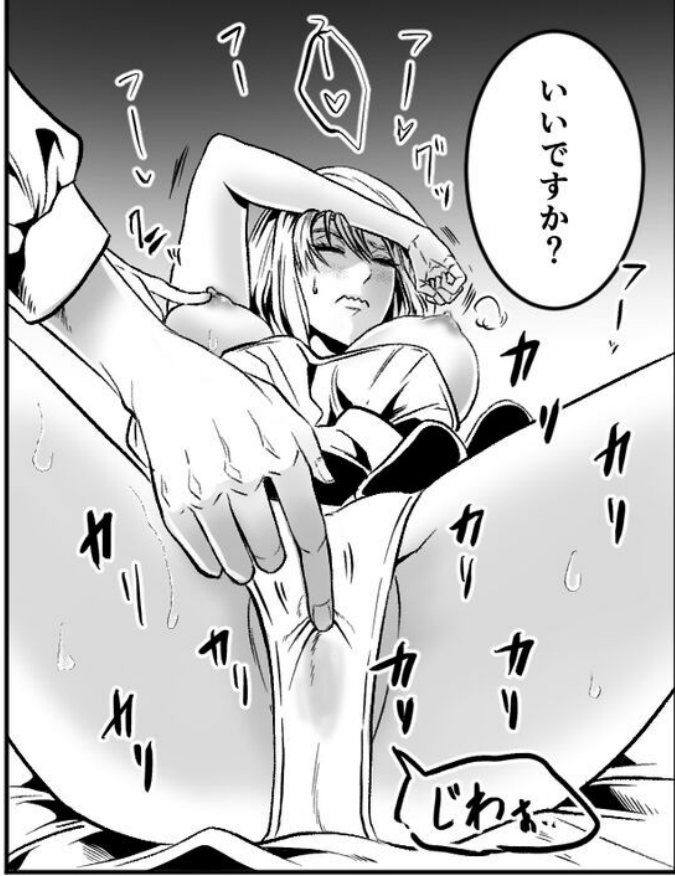


布越しでも
ピンとしてるの
わかりますよ
可愛いな…

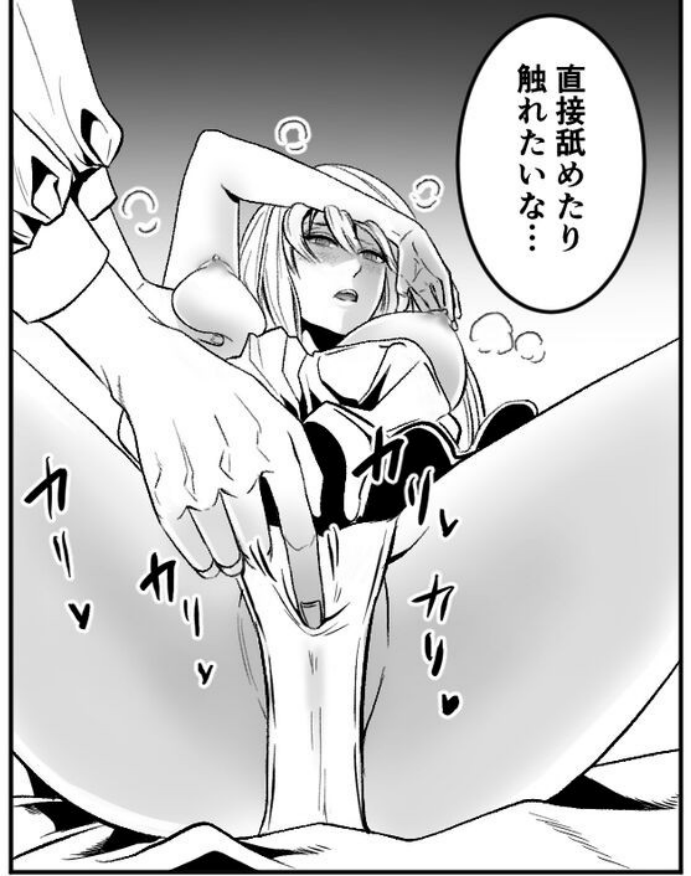
しっ下着の
上からッ!
吸わな…っ!

はー!

はー!



いいですか?

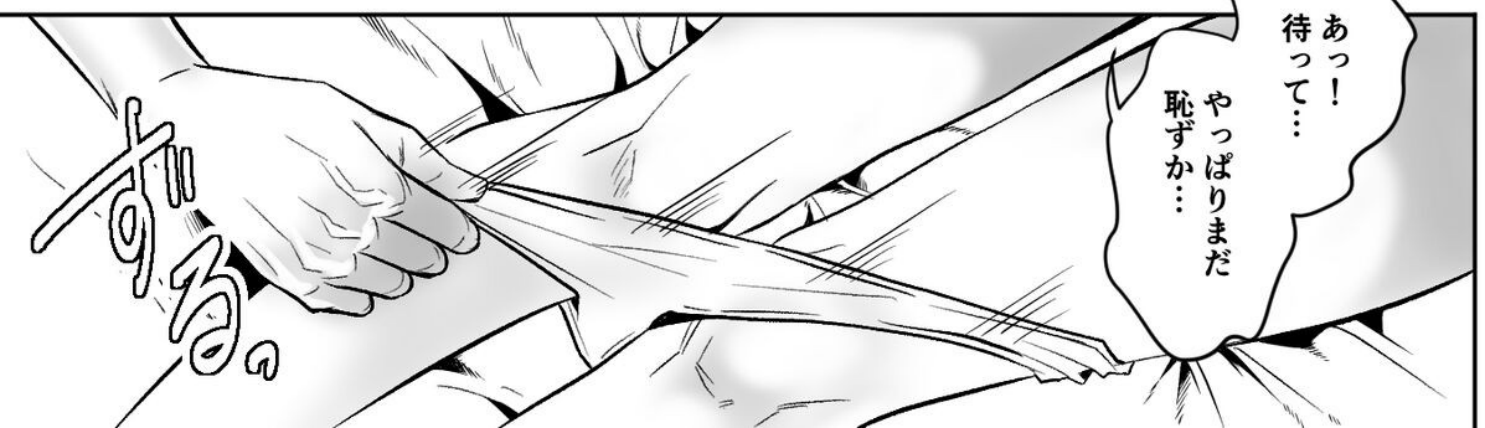


直接舐めたり触れたいな...



ねえ?

おっ
いっ...いっ!!
直接っいっ!!

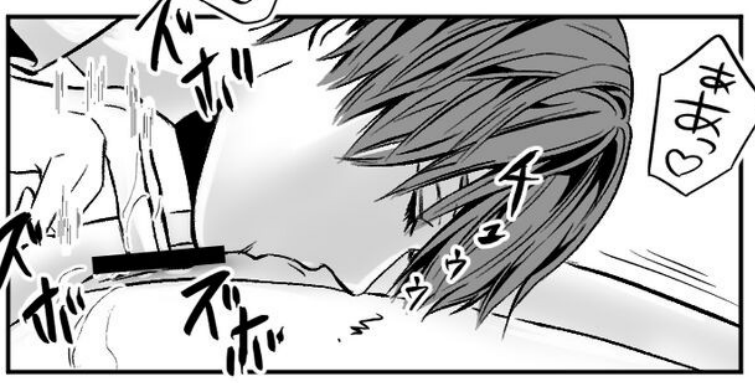
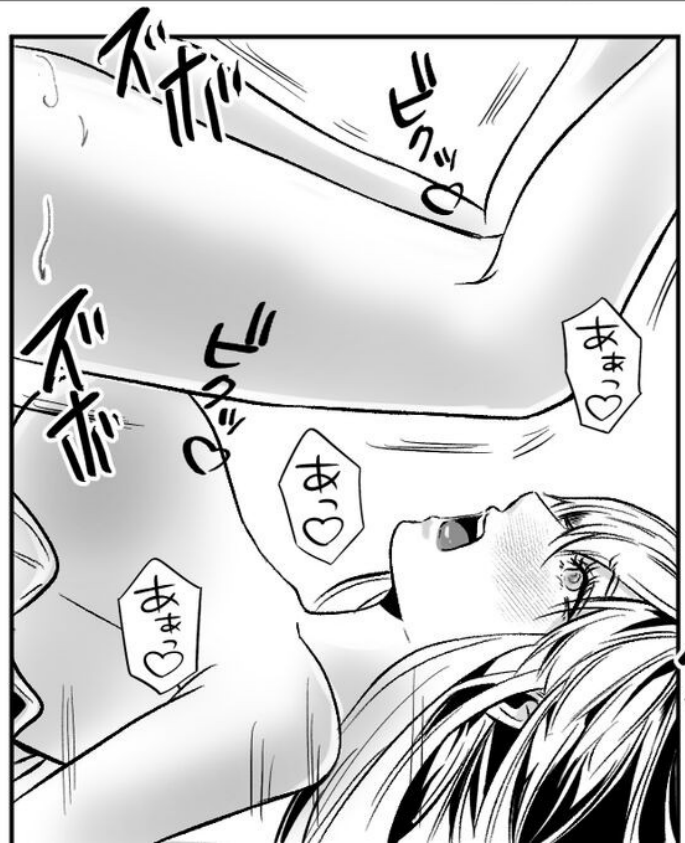


あっ!
待って...
やっぱりまだ
恥ずか...



ダメ

ちゃんと見せて？





ねえ
両方のひざ
抱えて？



あッ♡
フーンなの♡
恥づかしい♡

でもちゃんと
やってくれるん
ですよ

大好きです



あ…



いつもこの辺りから
中のヴィクのモノが

はーっ♡

異様に大きく
なってくる…!!

はーっ♡

あっ♡

イク…ッ!

今度こそ
イける…!!

あっ♡

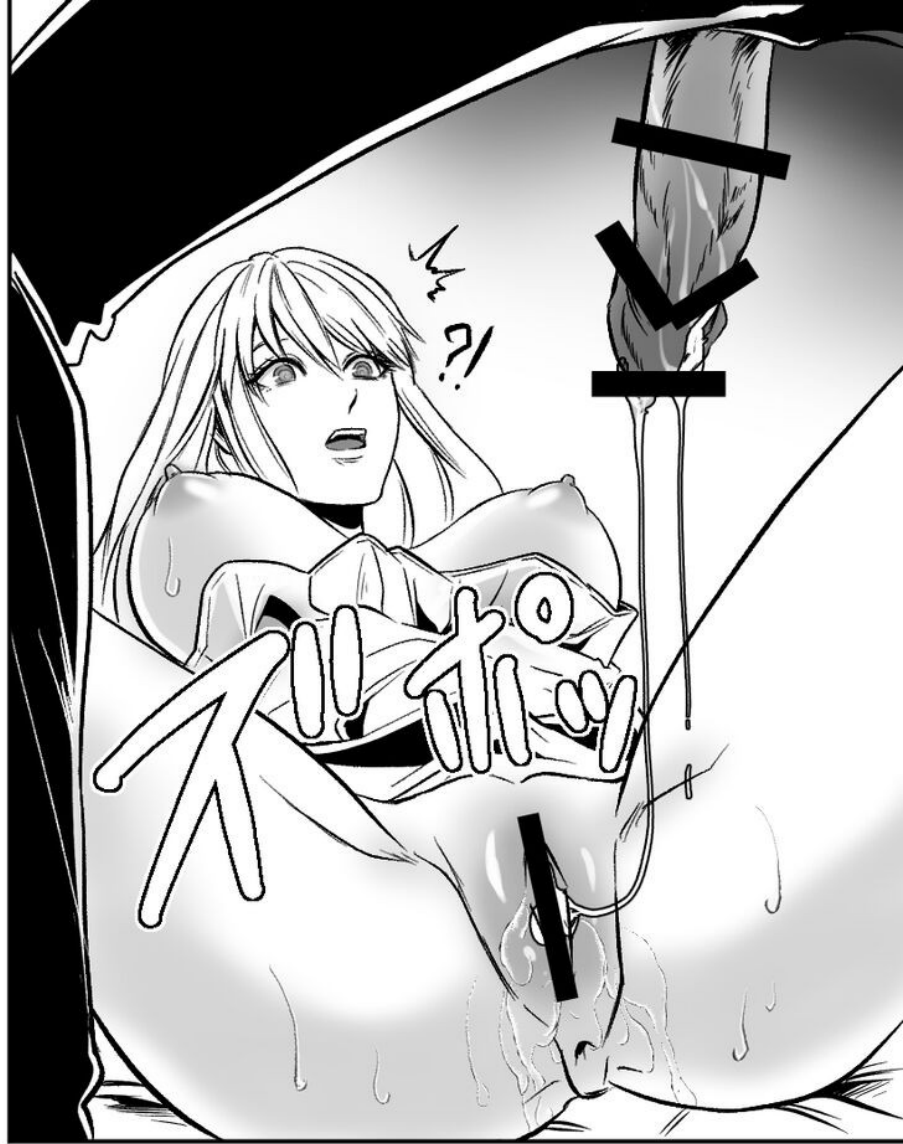
あっ♡

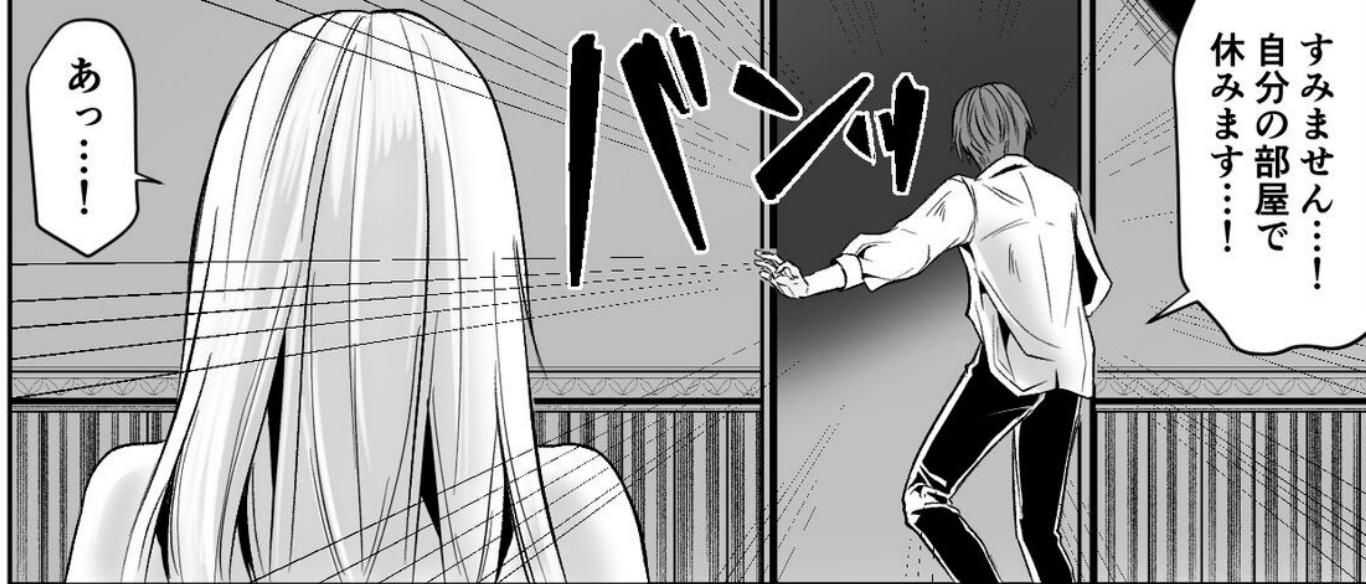
あっ♡

あっ♡

あっ♡

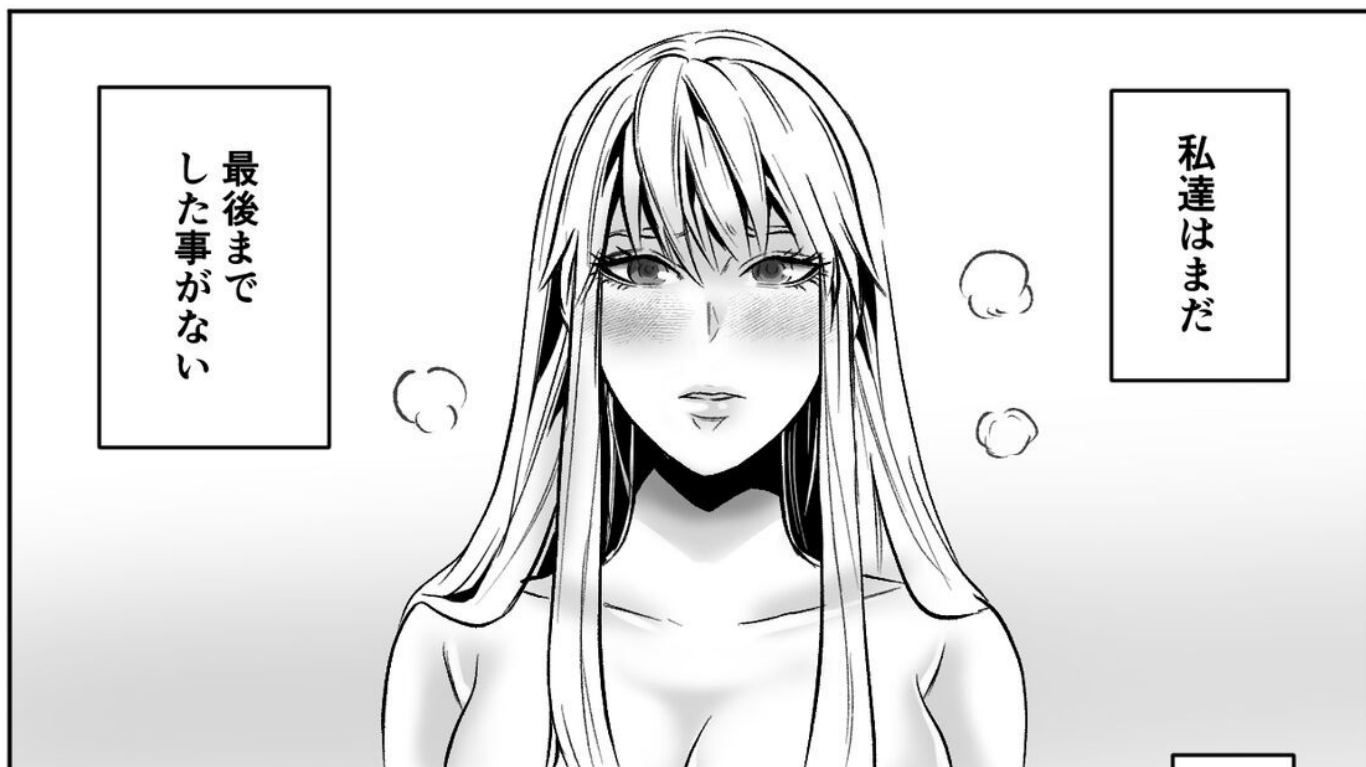






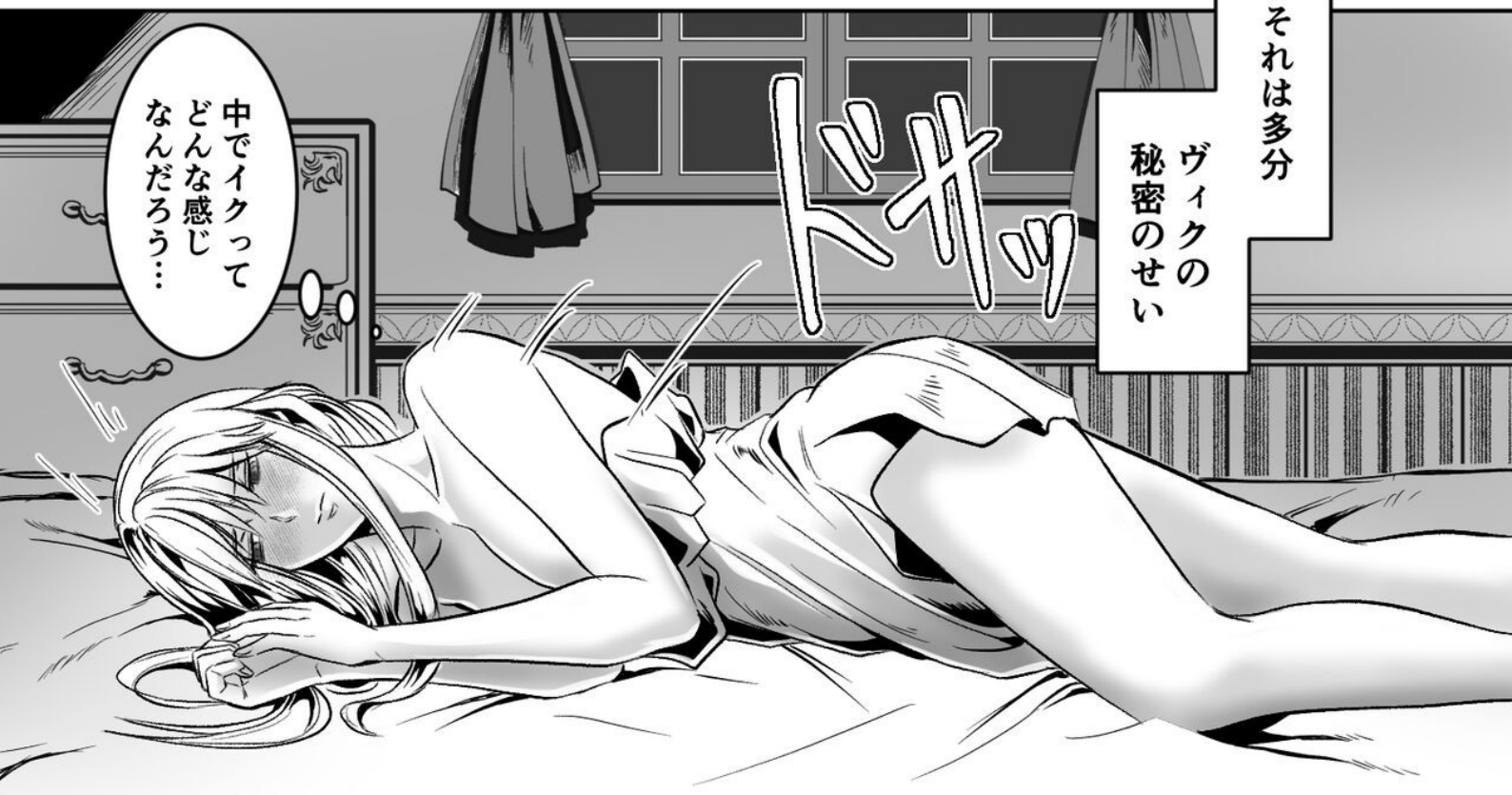
すみません…！
自分の部屋で
休みます…！

あっ…！



私達はまだ

最後まで
した事がない



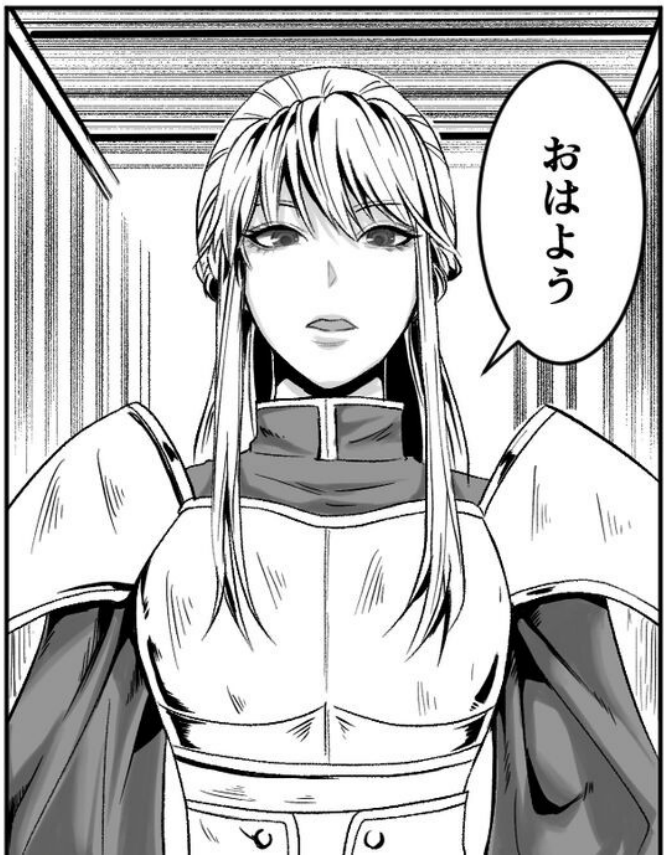
それは多分

ヴィクの
秘密のせい

中でイクって
どんな感じ
なんだろう…



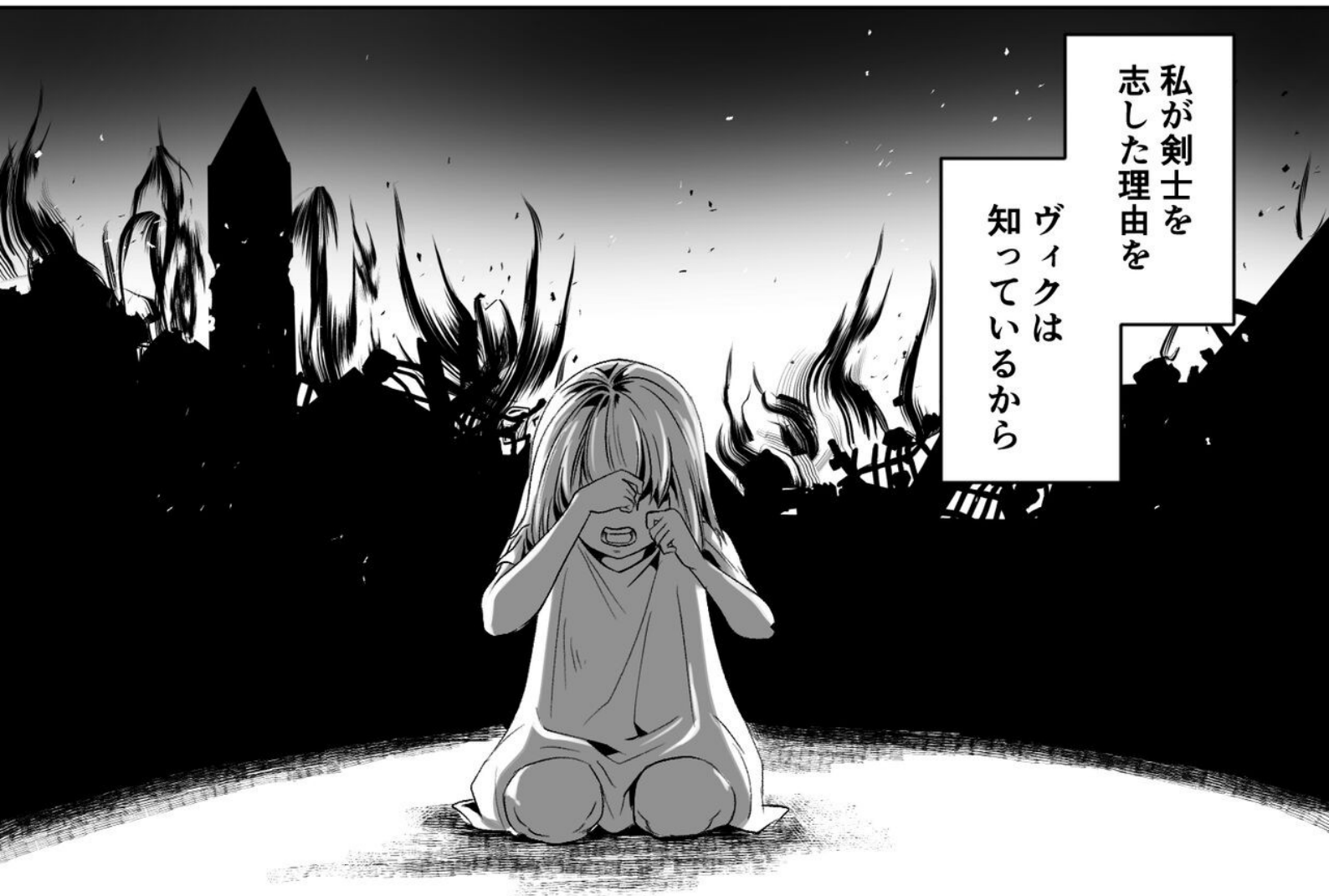
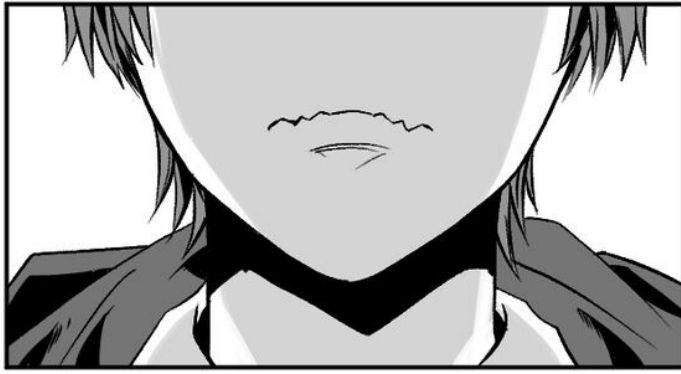
あの先の快楽を
知りたい



おはよう

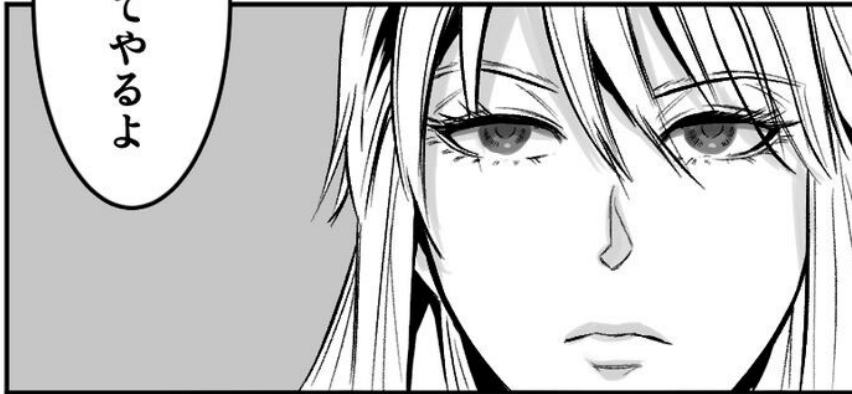


おはよう
ございます

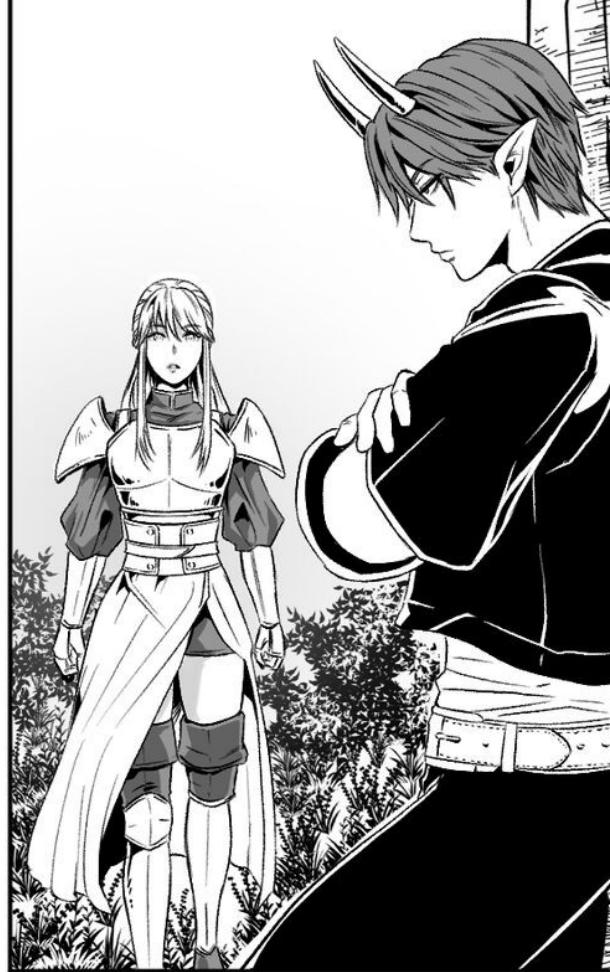




よお
今日もこの森で
魔物狩りか？



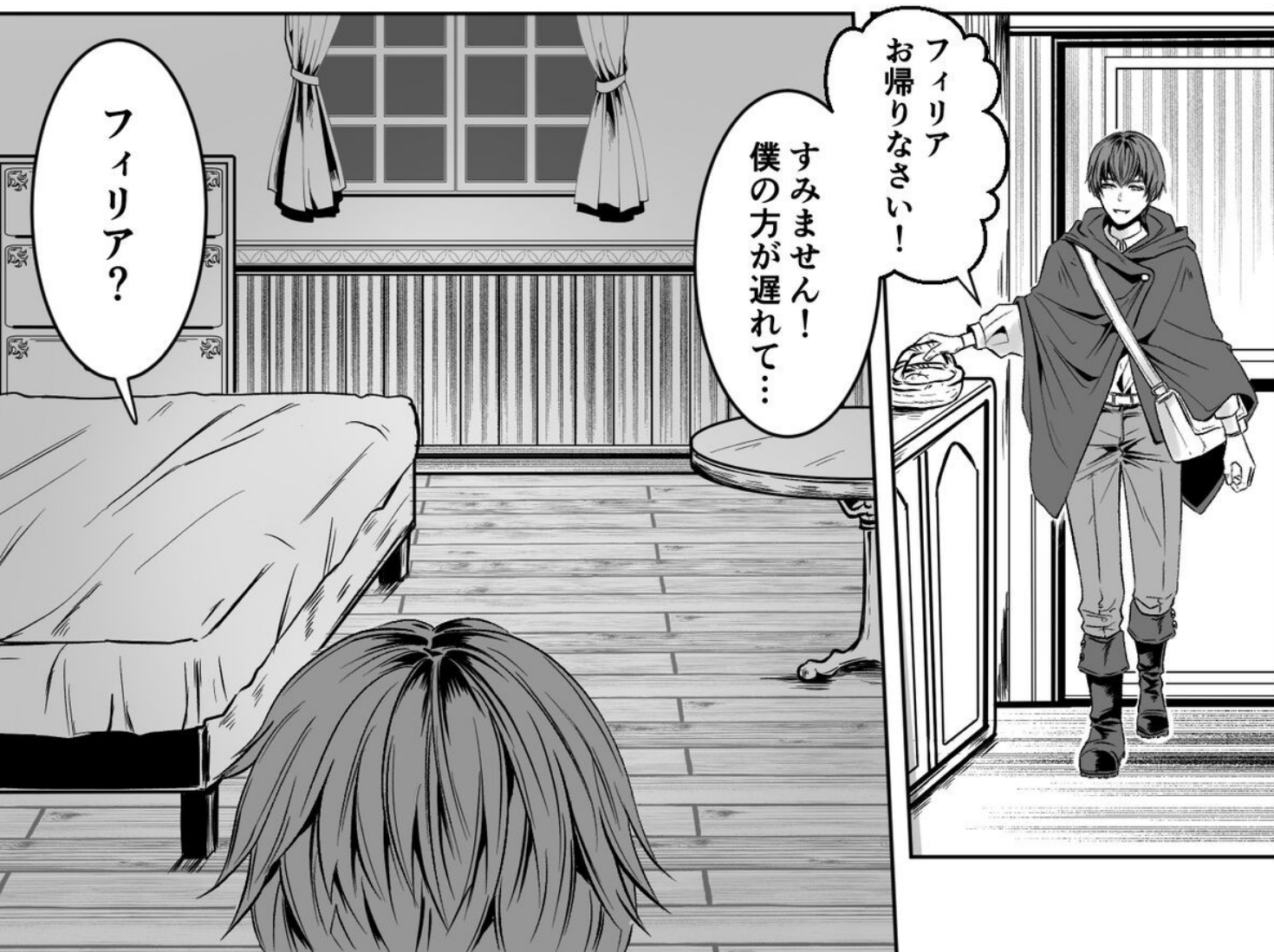
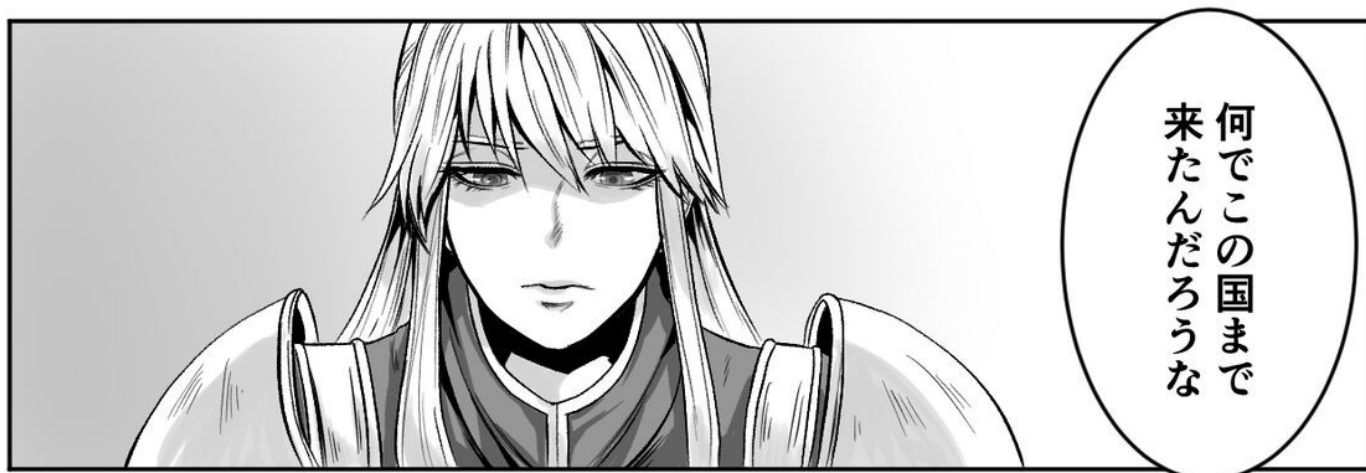
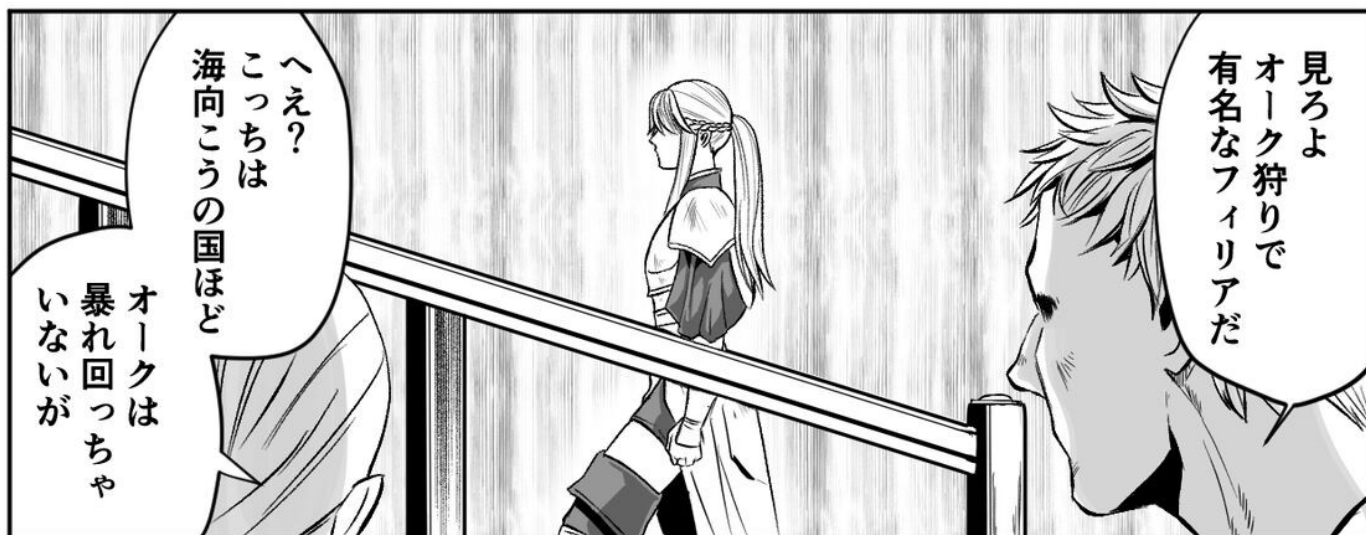
手伝ってやるよ



私の推測が
正しければ
ヴェイクの秘密は…



急に
なんだよッ!?



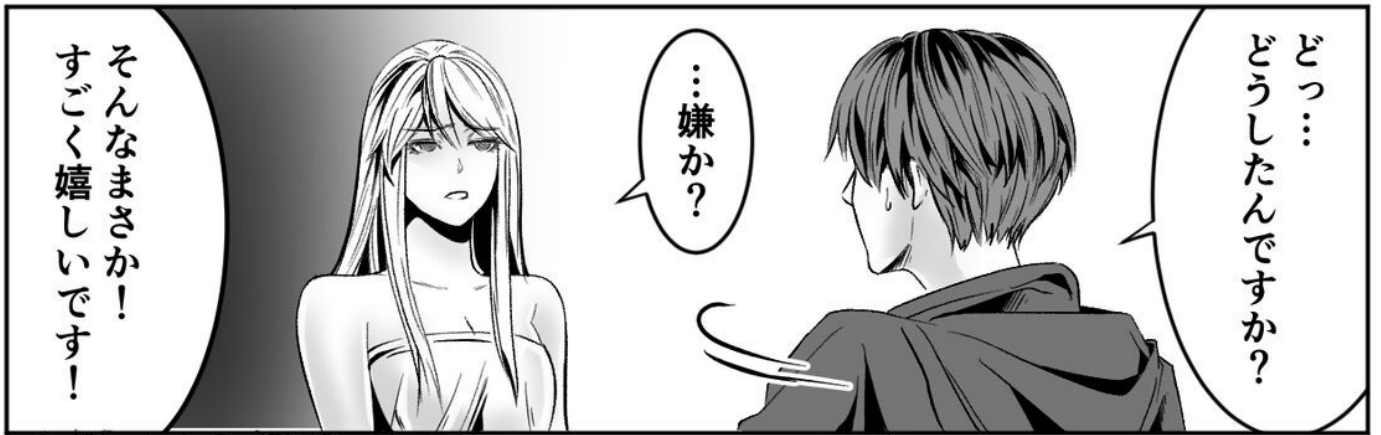


ヴィク
今すぐ
抱いてほしい



ヴィク

わあっ！
びっくりした！



どっ…
どうしたんですか？

…嫌か？

そんなまさか！
すごく嬉しいです！



それでいいから

お願い

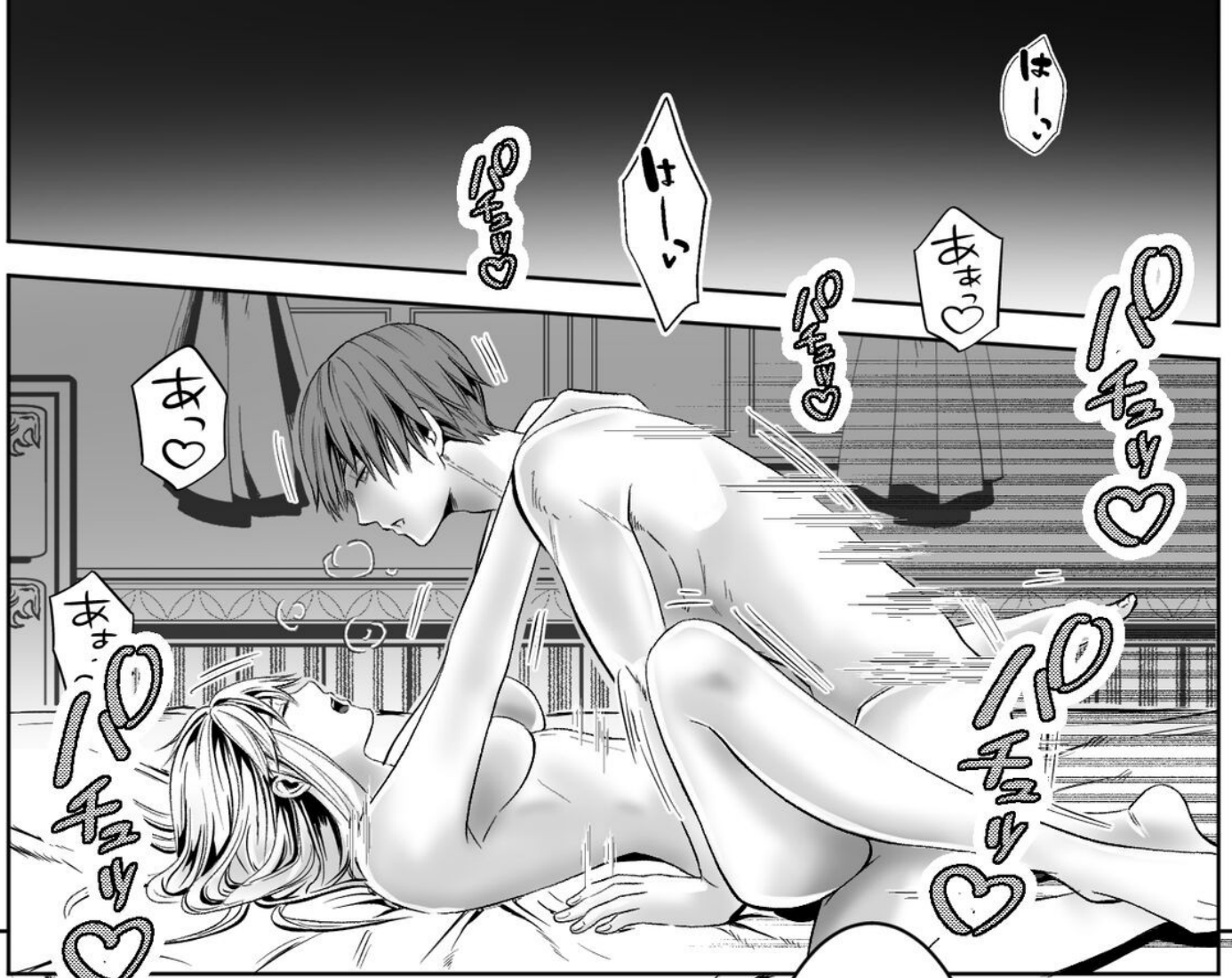
フィリア…



…本当に
フィリアから
誘ってもらえる
なんて

夢の様です

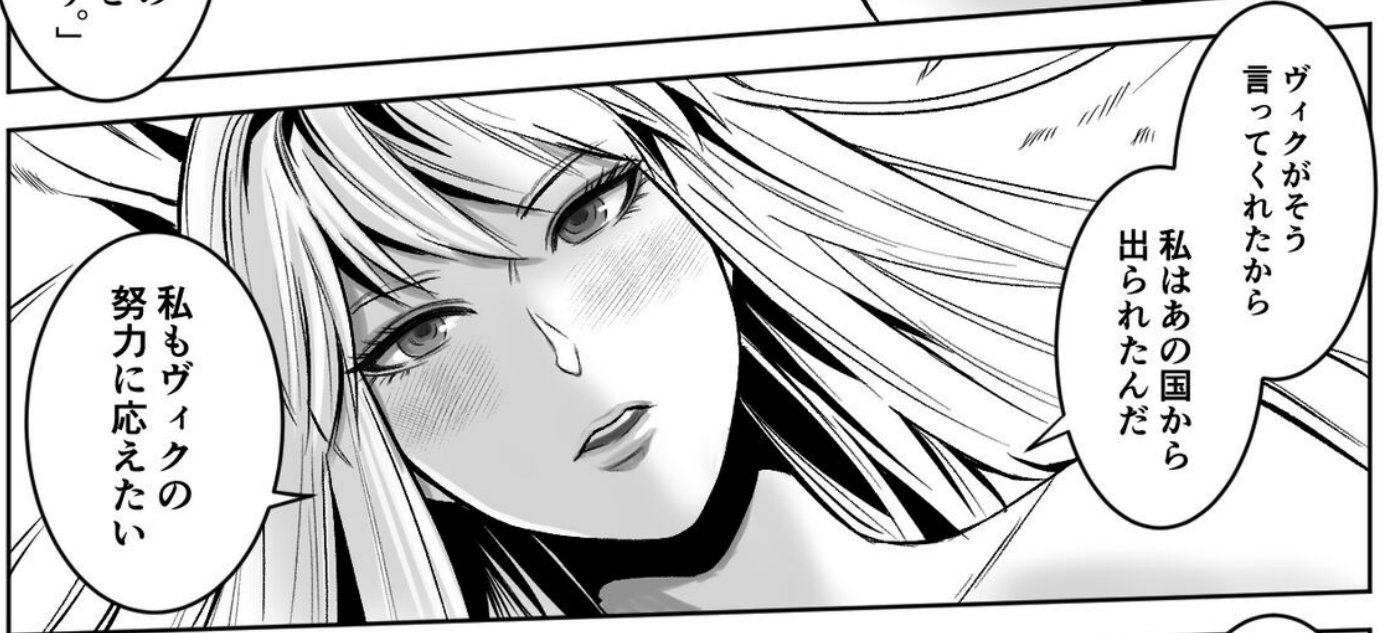
ただ…僕はまだ
最後まででは…



すみませんッ!
もうここままで...

えっ



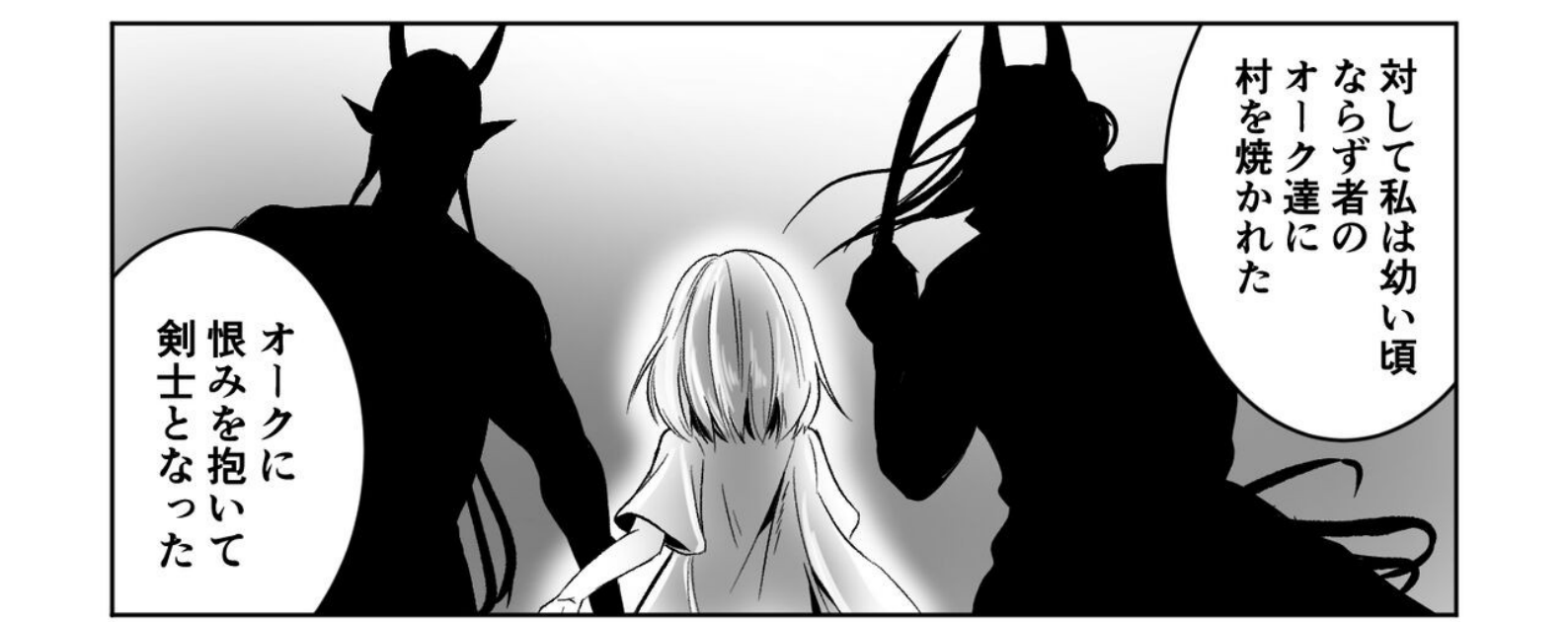




義理の
兄だろ

オークは時に
種族を問わず
仲の良い者と

義兄弟の契りを
結ぶと聞いた



対して私は幼い頃
ならず者の
オーク達に
村を焼かれた

オークに
恨みを抱いて
剣士となった



それを
知っていたから

自分には
オークの兄がいると
言えなかった

罪悪感で私を
抱くことも
出来なかった

違うか？



えっ…

違います…



ヴェネトから
ヴィクト
同じ香りも
したのに!?

違います!

じゃあ何で私を
抱けないんだ!?

やっぱり私が
年上すぎて
嫌になったとか!?

そんな訳ない
じゃないですか!



お願いだからッ!

もう離して
ください!

じゃあ
教えてくれ!

あ…あああああ
あああああああ



ヴェネ…

ああああ?!
ああああ

ガッ

ホッ



ヴェイクは人間名
ヴェネットはオーク名

どっちも俺だ



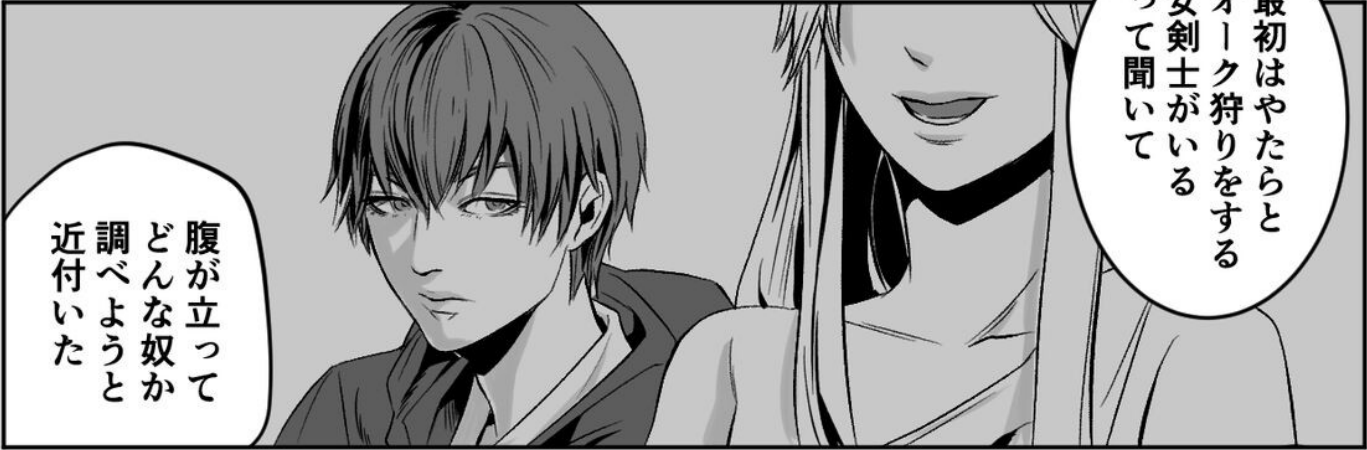
悪い…

興奮すると
魔法が解けて
オークの姿に
戻っちゃうんだ

戻るって…

俺は
魔法使いの人間と

オークとの間に
生まれた
混血児



最初はやたらと
オーク狩りをする
女剣士がいる
って聞いて


腹が立って
どんな奴か
調べようと
近付いた



でもフィリアの
事情を知って

フィリアという
人間も知って

気付いたら
本気で
好きになってた



でもフィリアは
オークを
忌み嫌っているし

好きなのは
ヴァイクという
人間の方だ

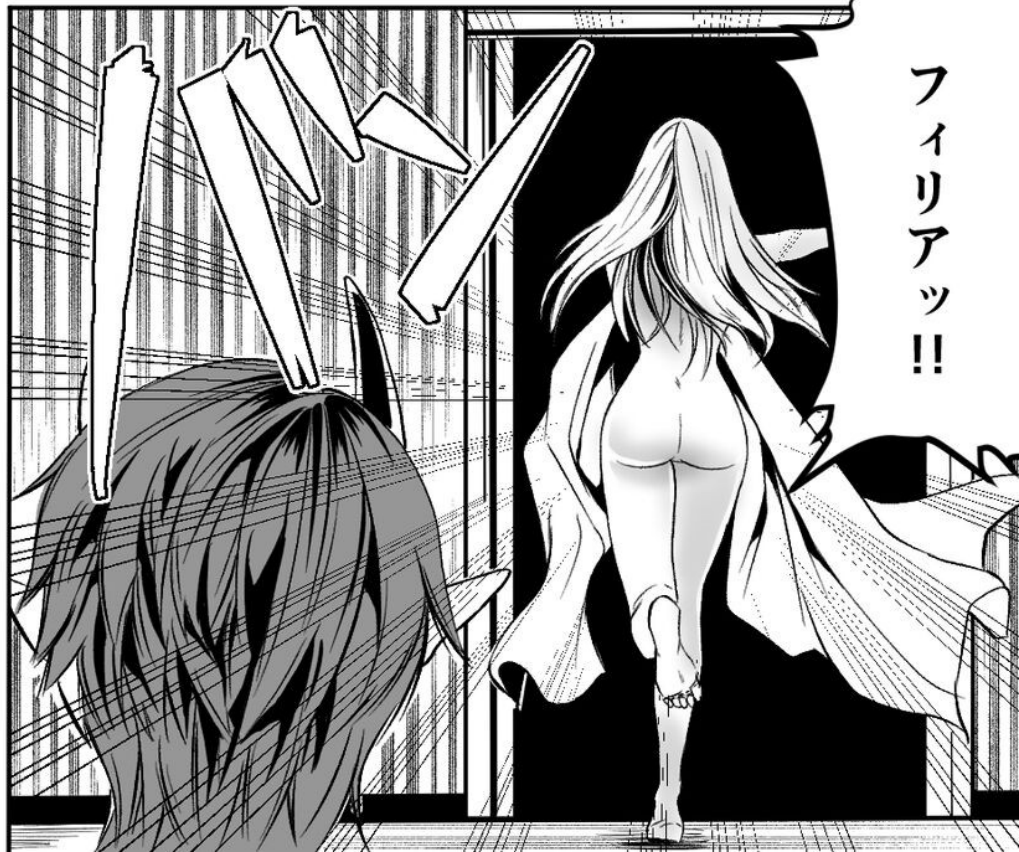
わかっていなかったから
言い出せなかった



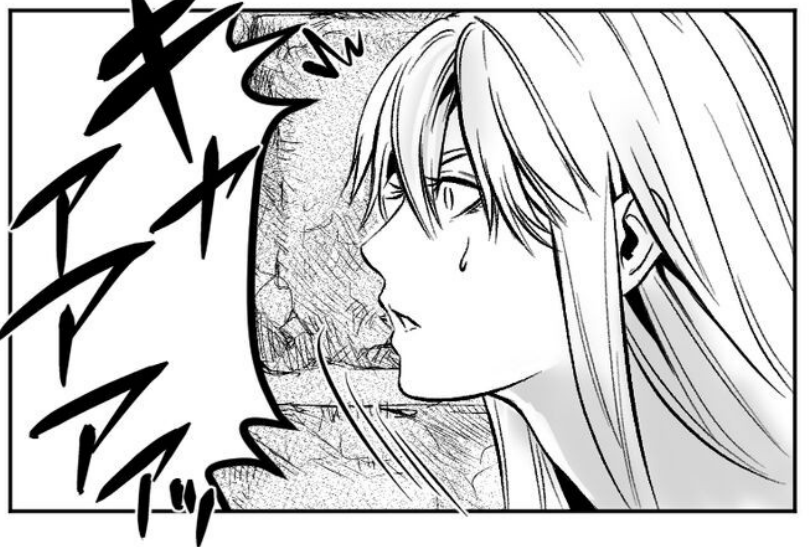
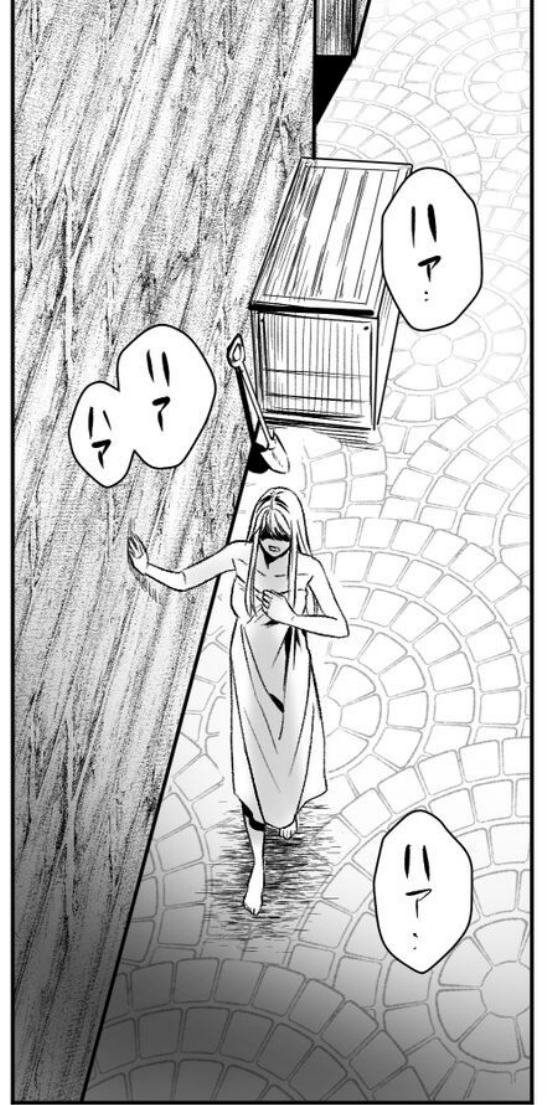
本当に
ごめん

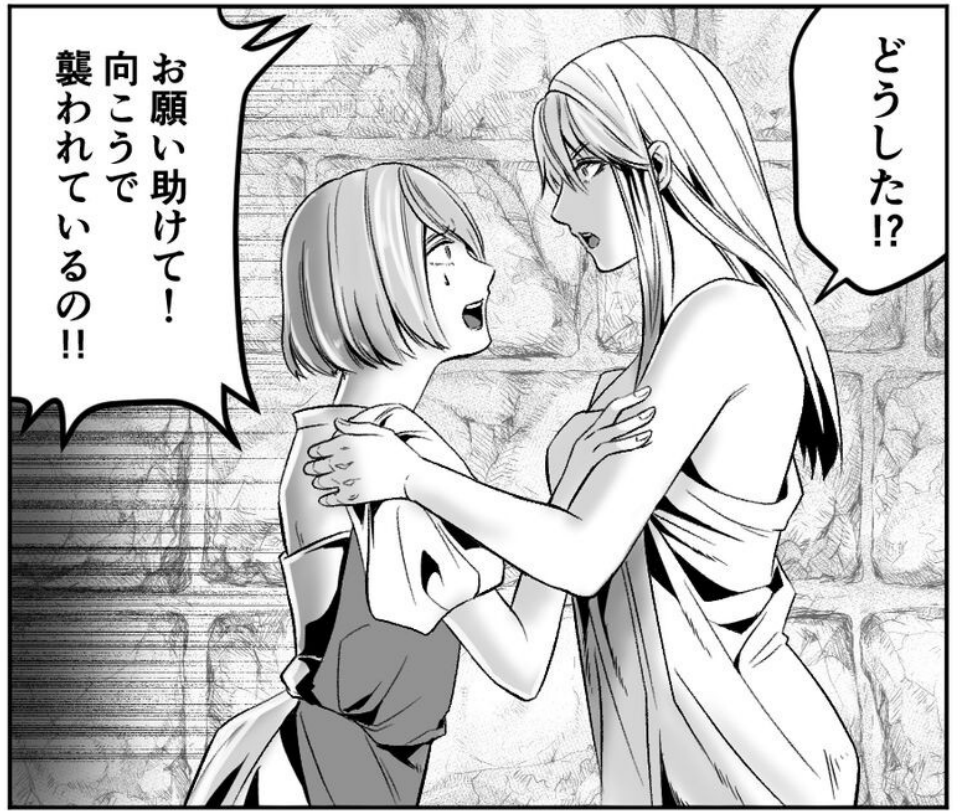
ヴィクと
ヴェネトが

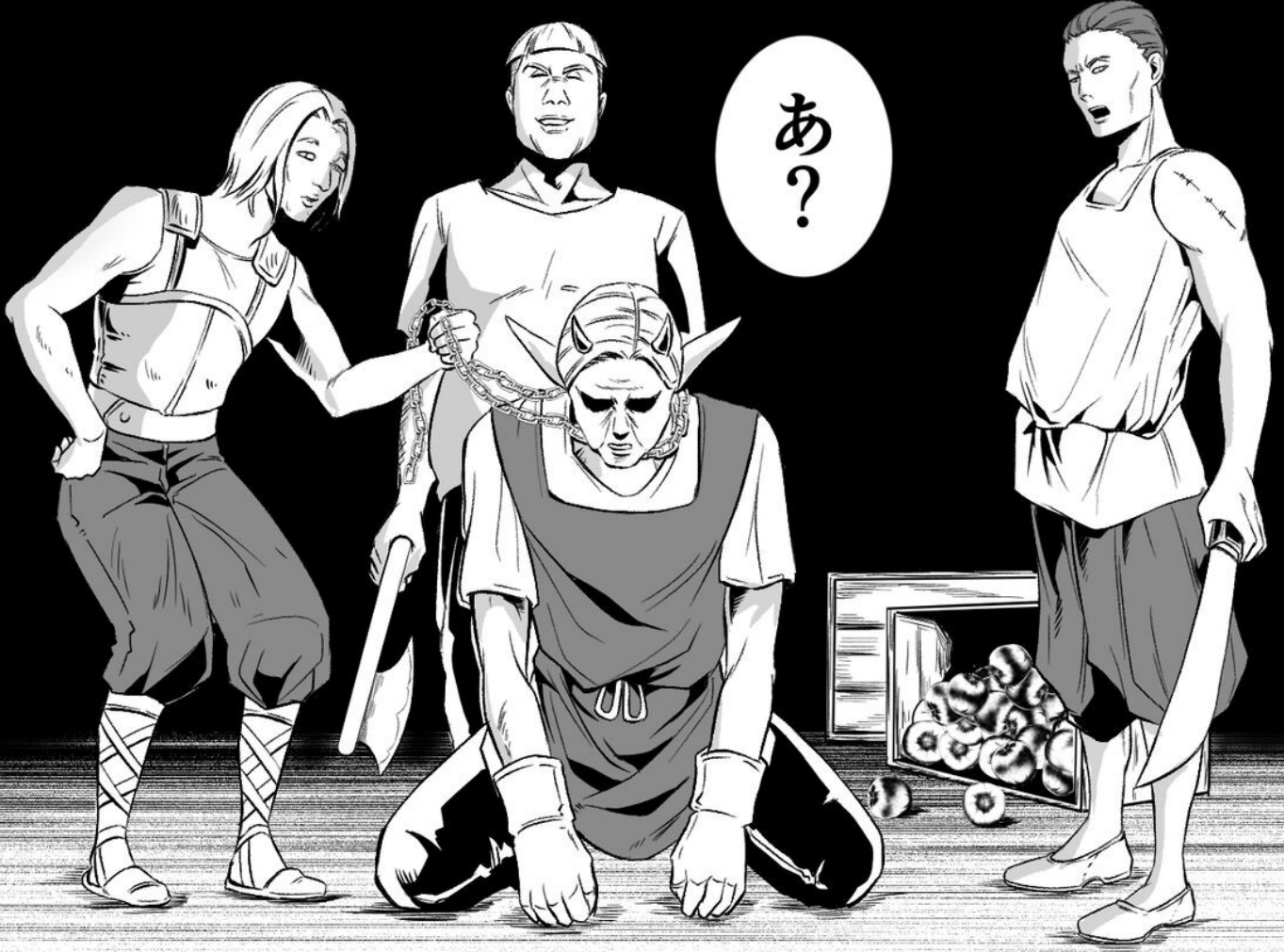
同一人物……？



フィリアッ!!



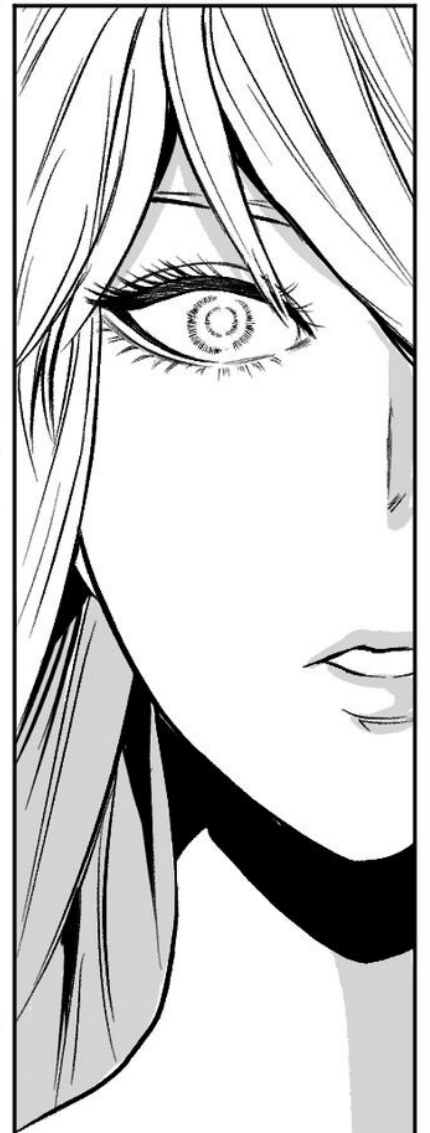




あ？



おおっ!?
オーク狩りの
フィリアだ!



フィリアさん
殺っちゃって
くださいよー!!

マジで!?
じゃあナマの狩り
見られんじゃん!



そのオークは…
その人はただの
農家の人
じゃないか!?

なんで
襲った!?



だって
「オーク」じゃん

あんただって
同じ理由で
狩ってんだろ?



違うツ!!

つお!!

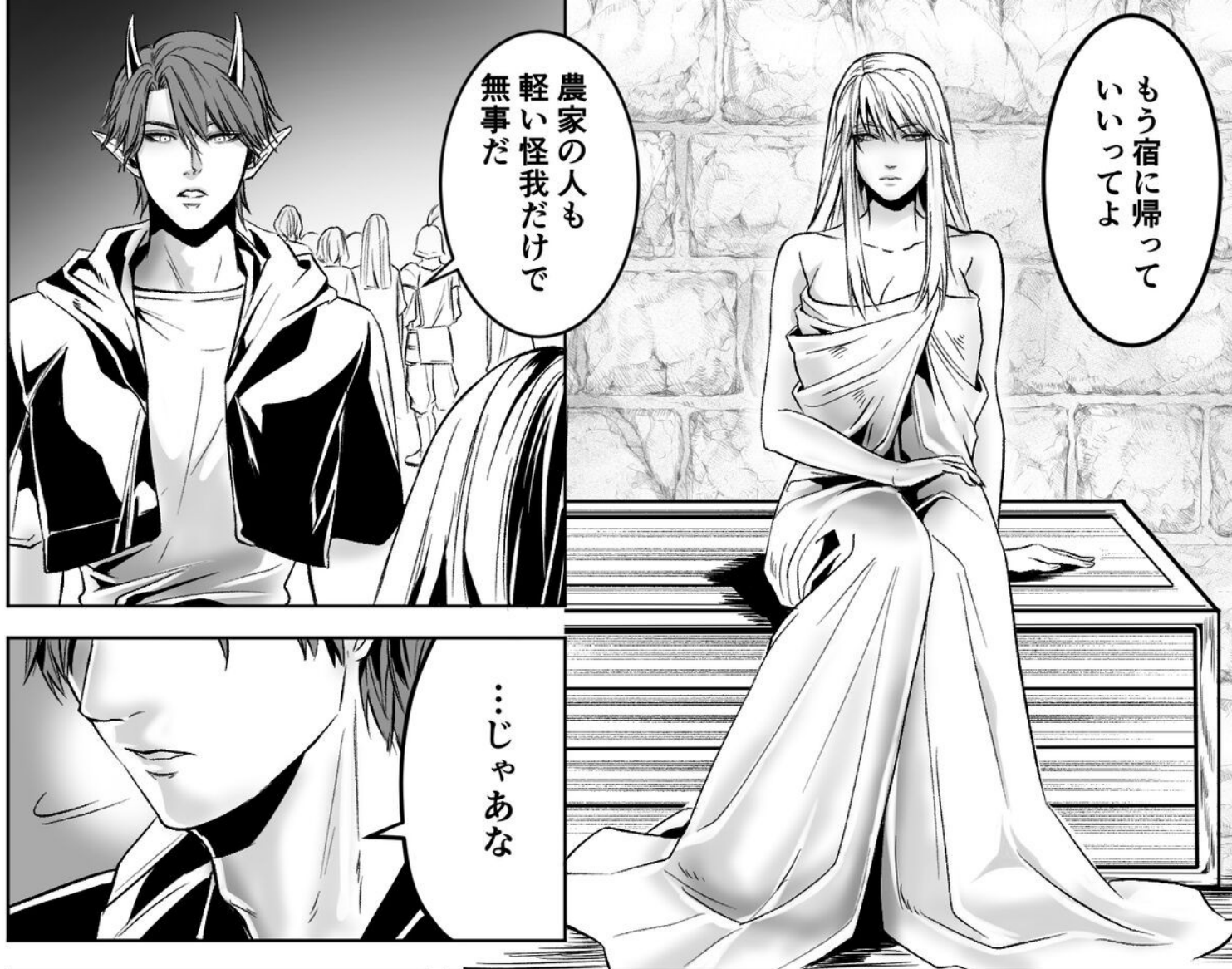
そんな格好で
戦えんの?

ぴゅん

くっ…!!
離せ!!



ヴェネト...!!



もう宿に帰って
いいってよ

農家の人も
軽い怪我だけで
無事だ

…じゃあな



ほら!!
ここ座って!

ばん、
ばん、



何が
「じゃあな」だ!

人をずっと
騙しておいて!

ビクッ

…他に隠し事は？

無い

…私への気持ちに
偽りはないか？

そこに嘘はないッ!!
愛している!!

じゃあ
許す!

えっ!?

ヴェネトは
いつも共に
戦ってくれた

私をずっと
守って
くれていた

そして…

ヴィクは私に
オークの知識を
与えてくれた

オーク憎しだけの
浅はかな私を
変えようと
してくれていた

だから許す

…条件付きで

条件？

こっ…
今夜こそ

ちゃんと
抱いてほしい

喜んで…!

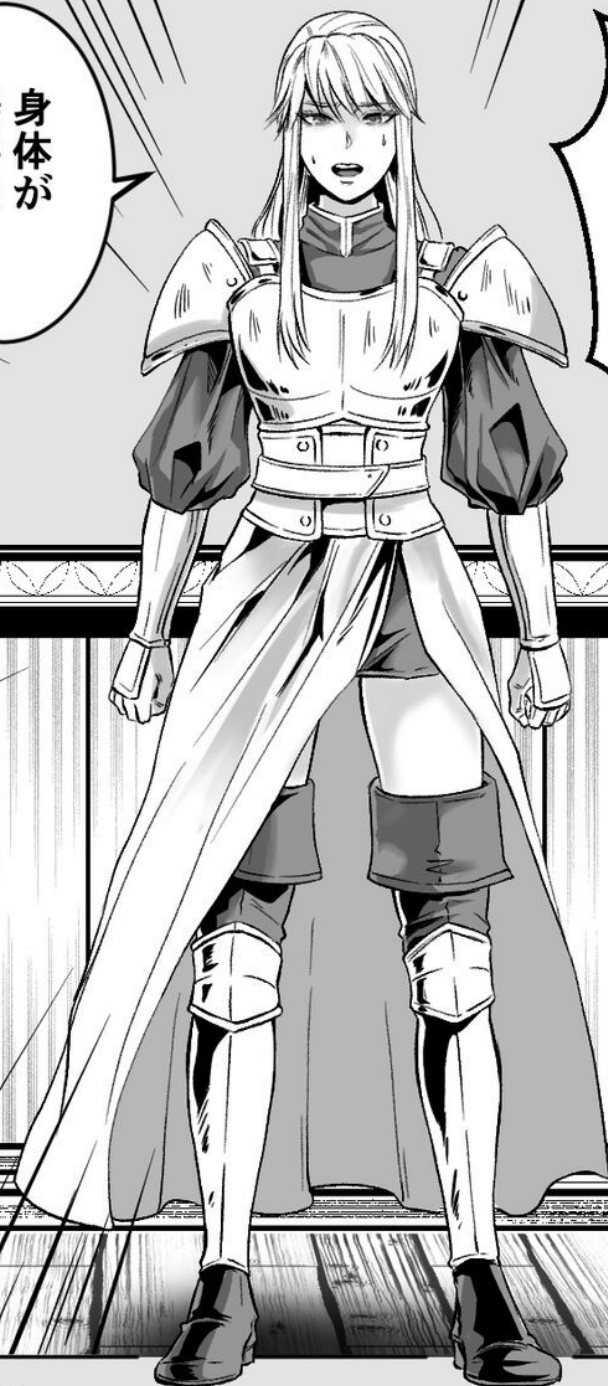
…本来の姿で

…で？

何で完全装備!?

身体が
勝手に…!!

大丈夫かよ…
やっぱり
無理してんじや…



断じて違う!

…けどさっさと
今夜は1回だけで
終わらせてほしい

はあ!?

そして私は
人形のように横たわり
無反応でいる事を
許してくれ

何でだよ!



酷い事を
言っている
自覚はある

私だって
恋人らしく
振る舞いたい！

だけどこれは
オーク狩りの剣士
としてのの

最後の
プライドなんだ！

次からは
ちゃんと普通に
するから…

どうか頼む

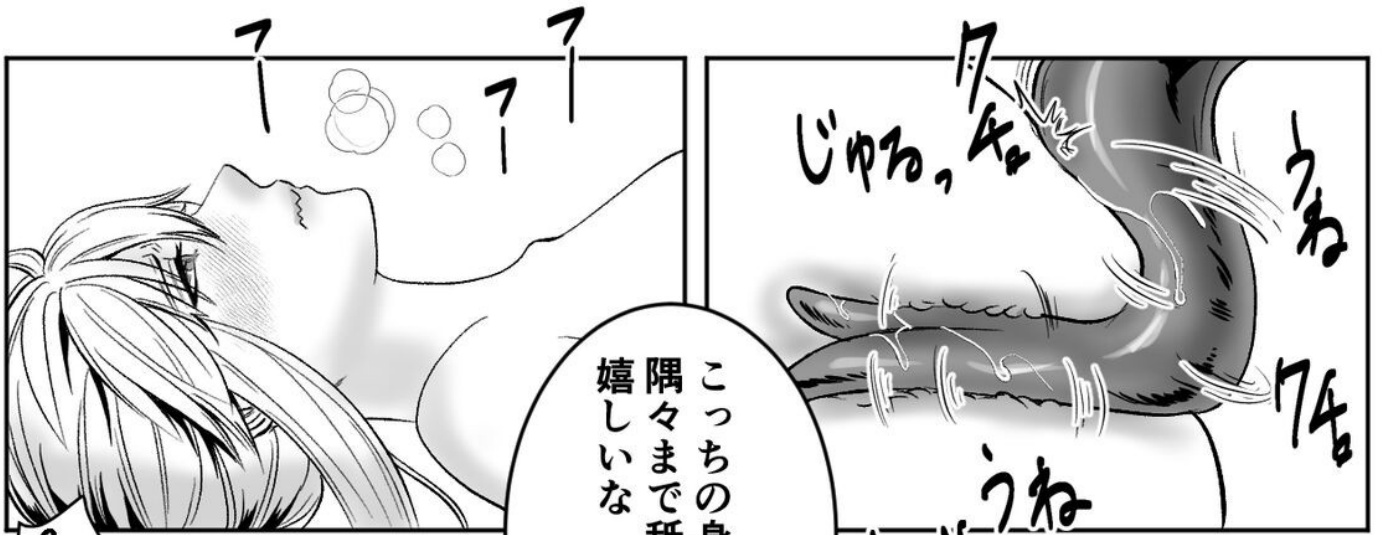


わかったよ

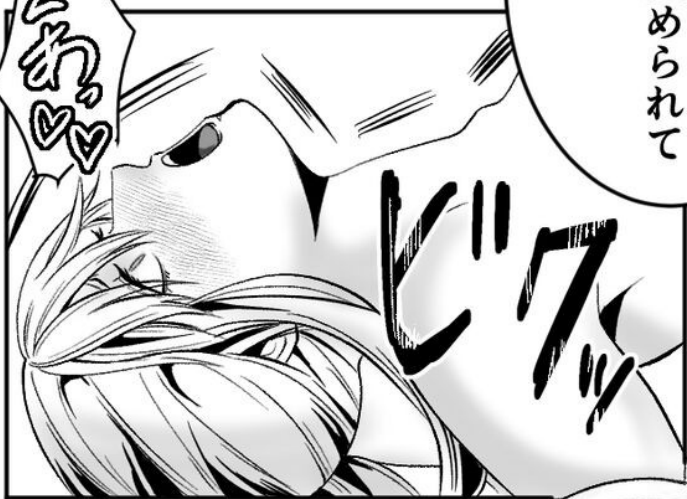
次回からは
可愛い反応
見せてくれよ？







こっちの身体だと
隅々まで舐められて
嬉しいな







うちは父が人間で
母がオークだ…！

かあち
あち
あち

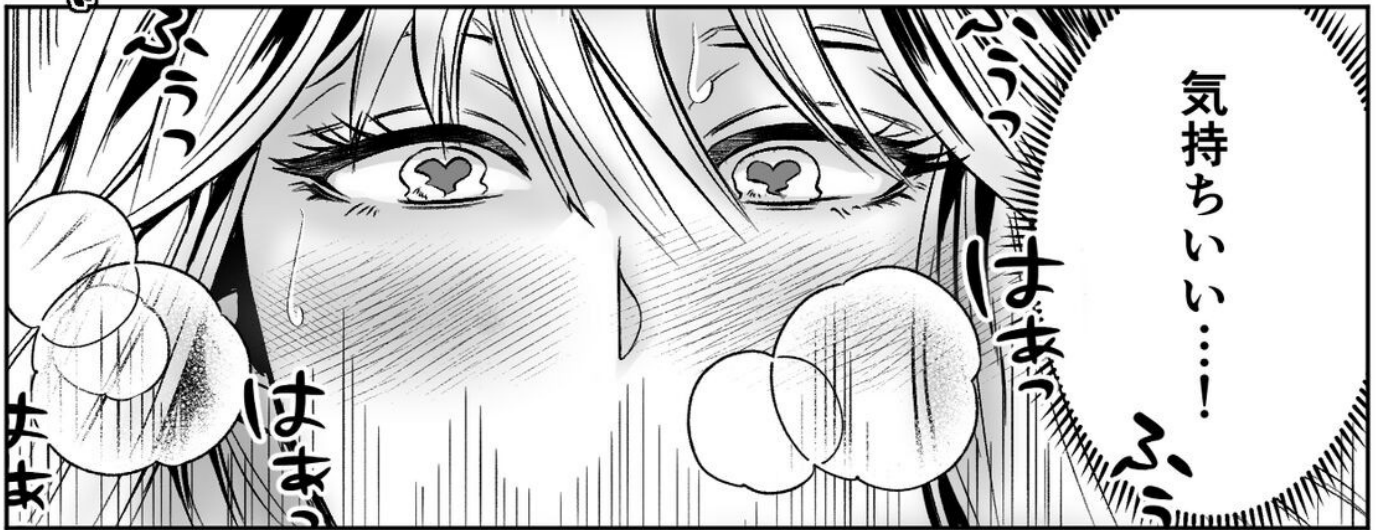
出来るだけ
優しくするから

全然
優しくない…！





息が出来ない
くらい重い...!!
でも...



気持ちいい...!!



カッ



ハハハ♡

♡ハハ

♡ハハハ

バキッ

♡ハハ

♡ハハ

バキッ

バキッ

♡ハハハ

バキッ

俺も……!

♡
もう木トおバクッ♡
♡



すごかった…

初めて絶頂を
知れた…

ありが…

あああ?!

俺も幸せで
気持ち良かった

でもまだ
足りない!

いっ1回だけ
って約束…

んおっおっ!

無理だ…!

フィリアの
汗の匂い嗅ぐと
抑えられない!



おっおっ!

おっおっ!

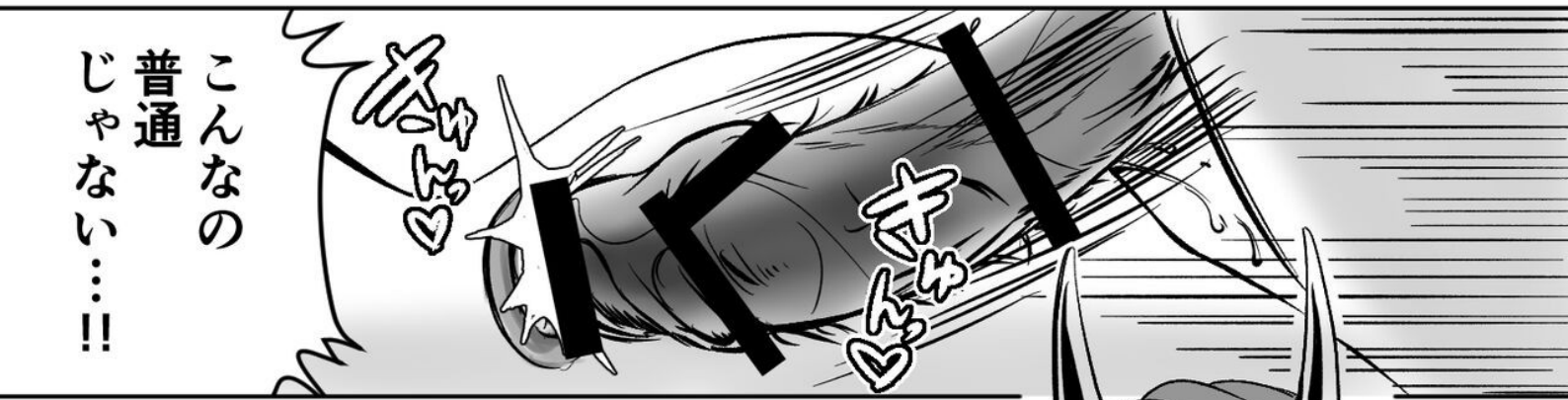
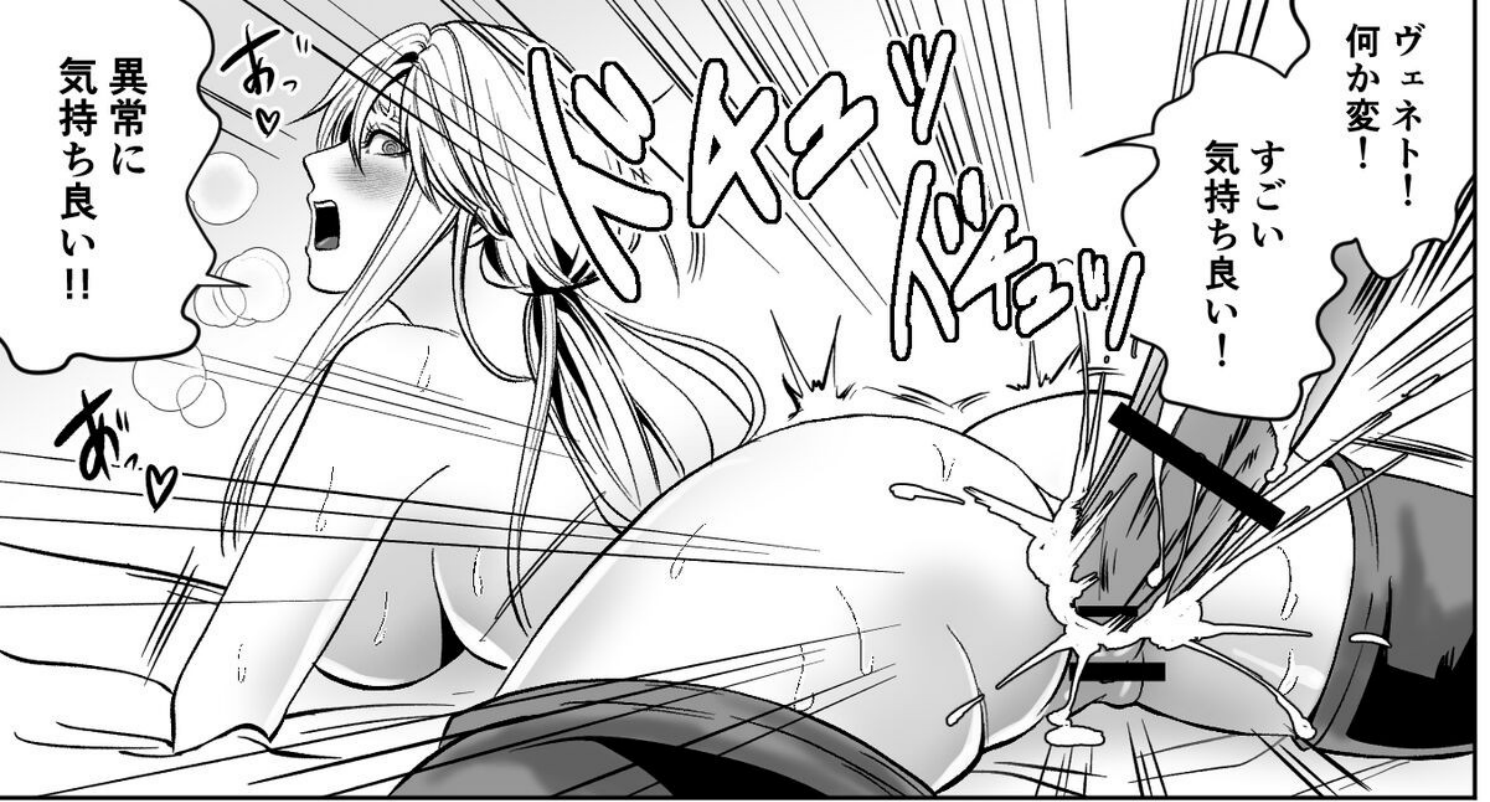
はっはっ!

はっはっ!

おっおっ!

おっおっ!





こんなもの
普通
じゃない…!!

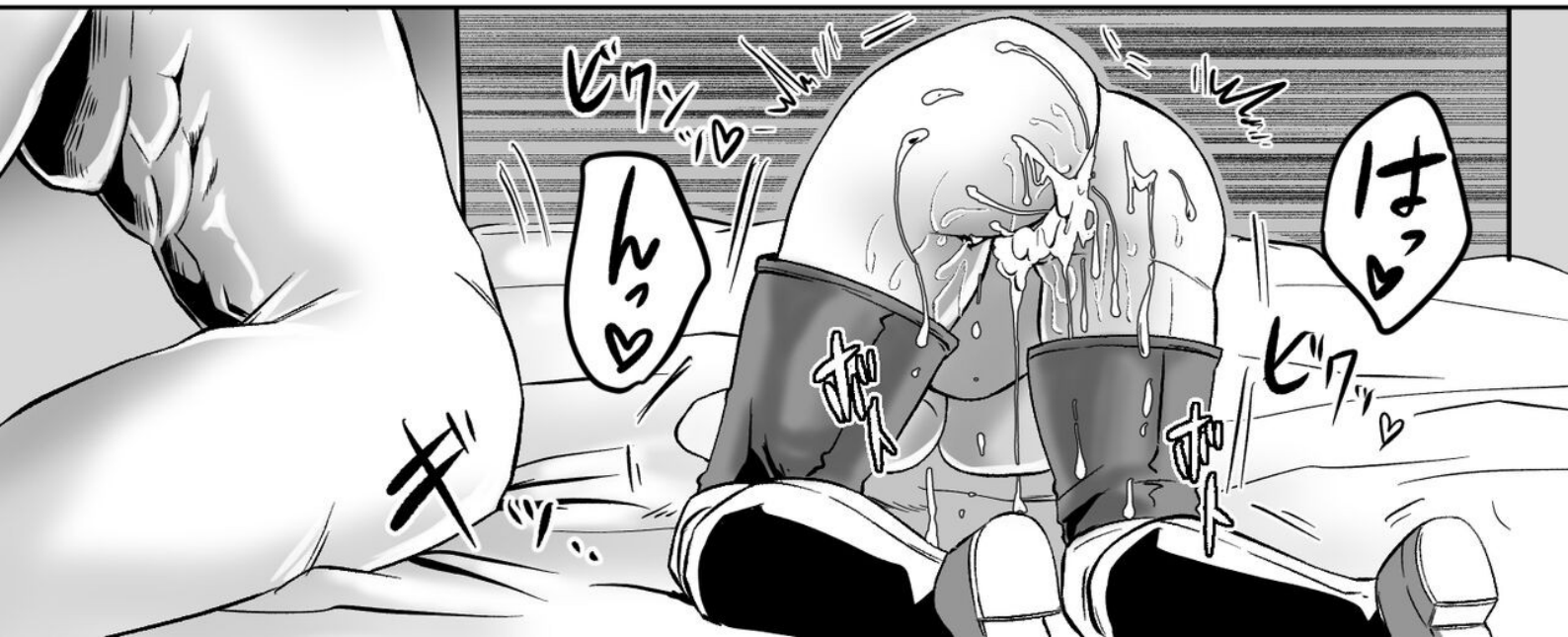
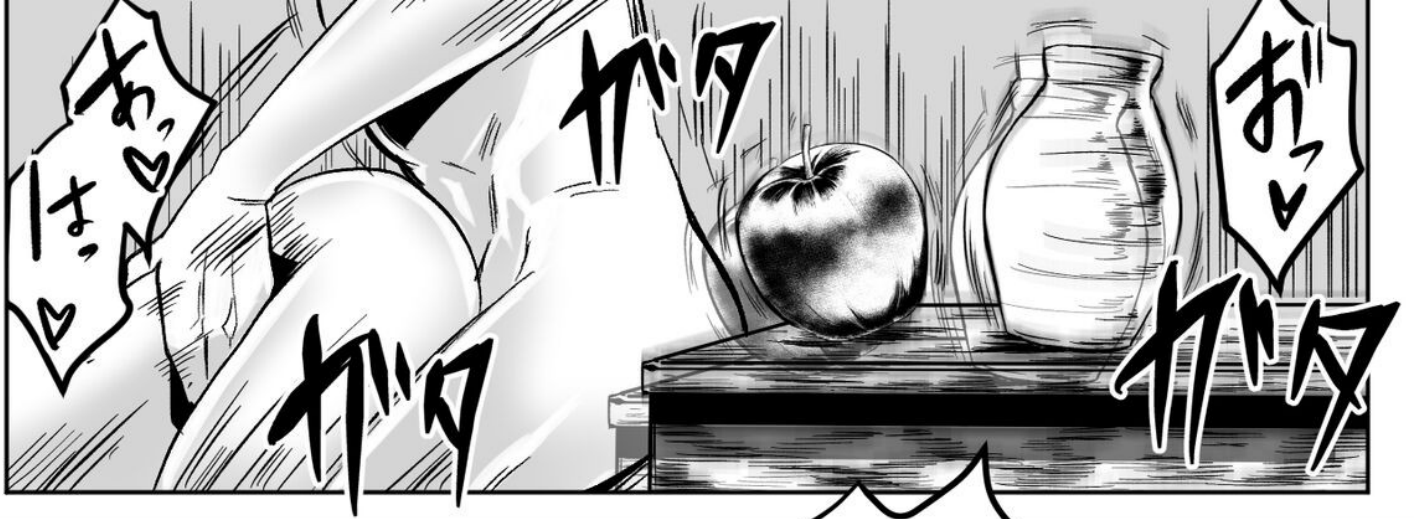


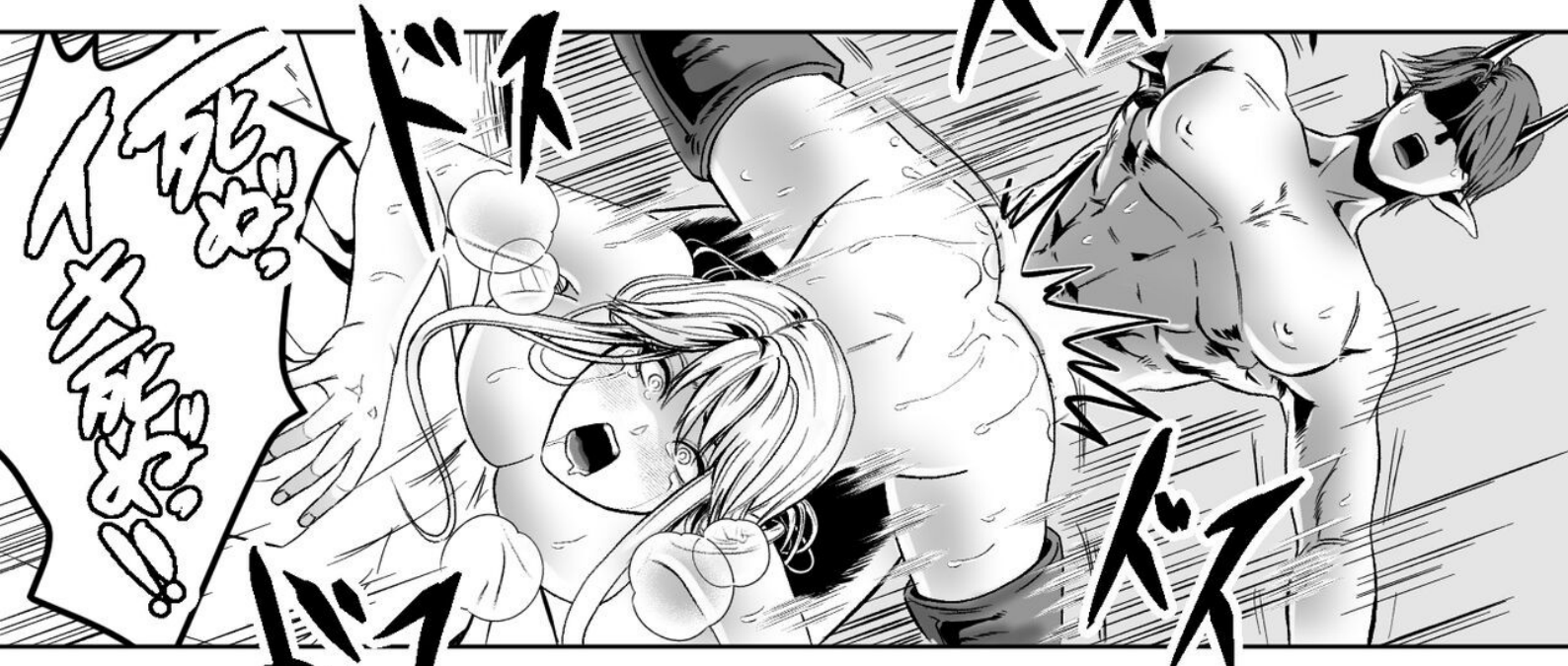
なっ…

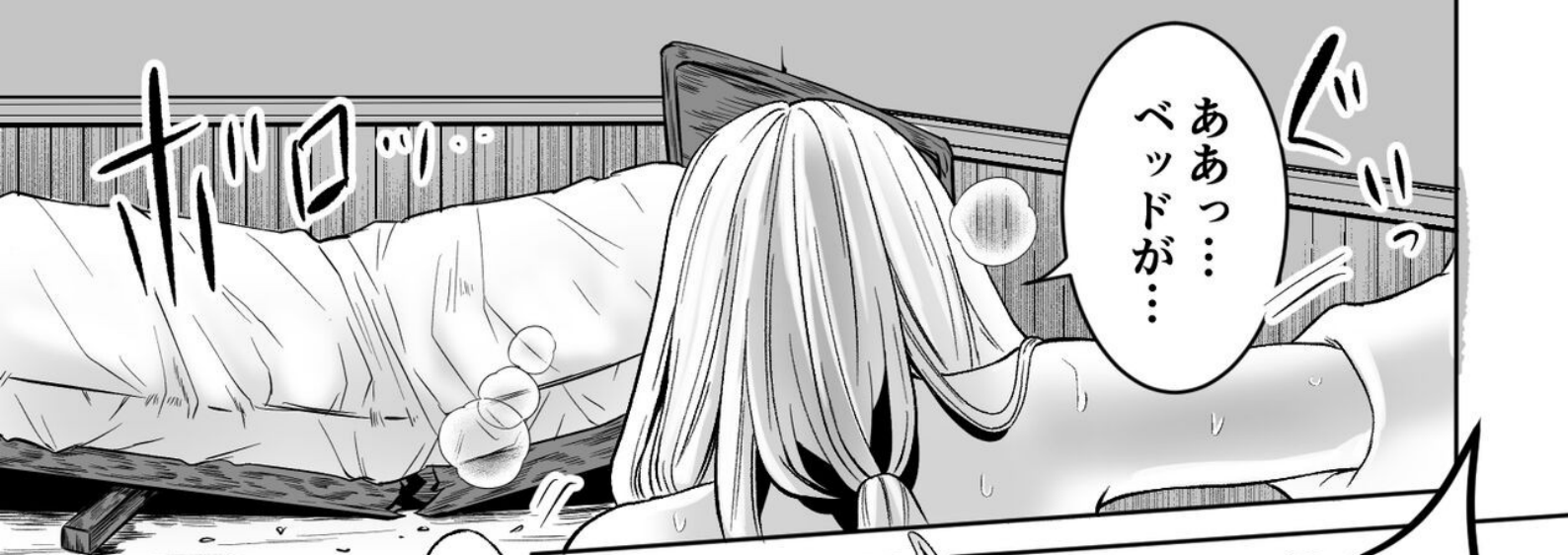


ああそれ
俺の精液の
せいかも?

オークの体液って
媚薬の作用が
あるとか何とか…







ああっ…
ベッドが…

ベッドは
無くても
出来る…!

んがおお!

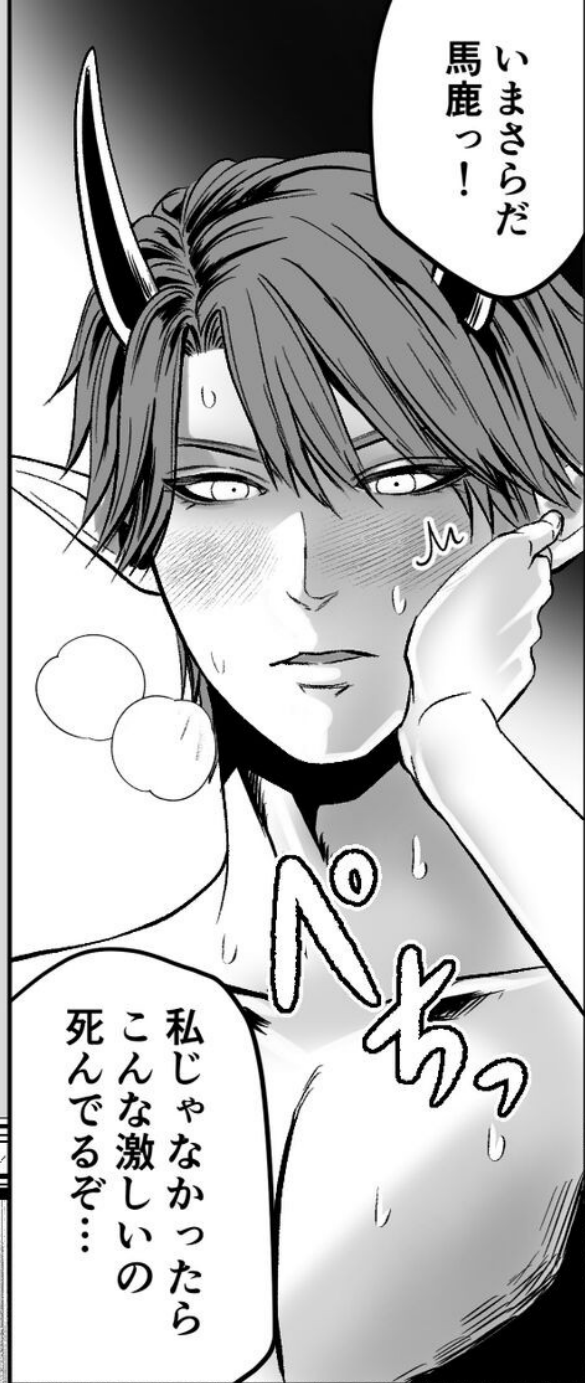


ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



いまささらだ
馬鹿っ！

私じゃなかったら
こんな激しいの
死んでるぞ…



ごめん
フィリア

何度しても
し足りない

いっそ
ぶん殴って
止めてくれ…！

ヤクソッ

はっ

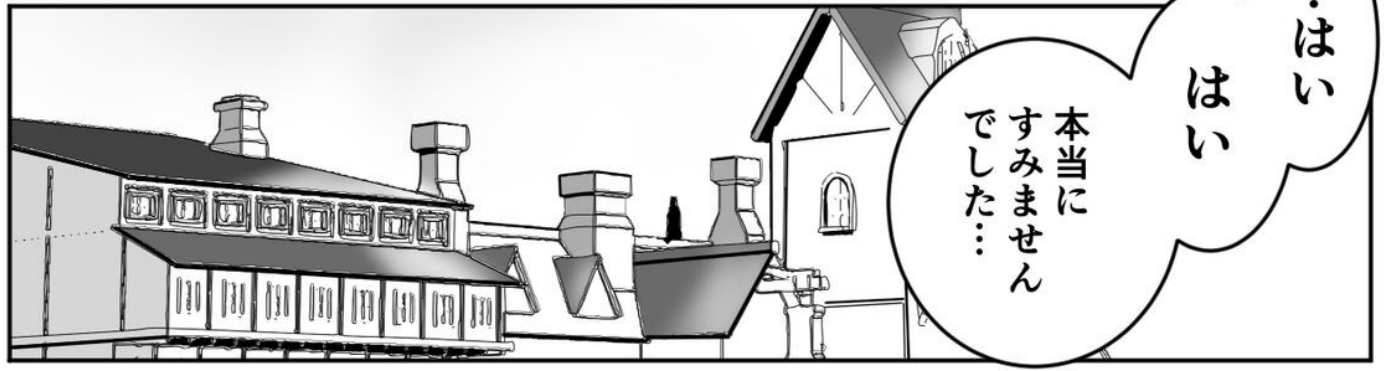
はっ



もういいよ

何回も中に
出されたせいで
私も身体が
おかしくなってる

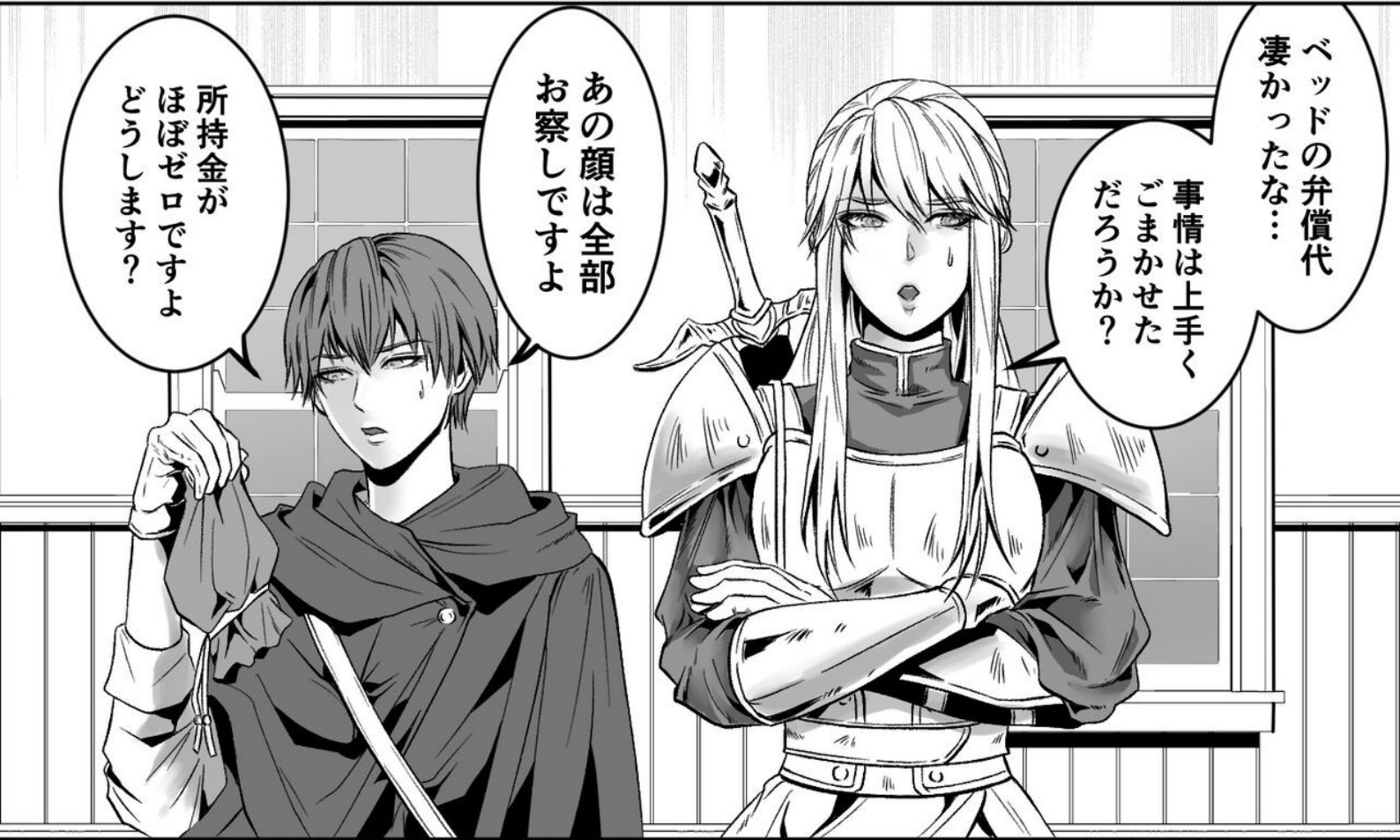
好きなだけして？



はい

はい

本当にすみません
でした...



ベッドの弁償代
凄かったな...

事情は上手く
ごまかせた
だろうか？

あの顔は全部
お察しですよ

所持金が
ほぼゼロですよ
どうします？



それは
問題ない

...ヴェネットが
今日もこれからも
ずっと魔物狩りを
手伝ってくれるだろ？

そしたら
お金はきつと
すぐ貯まる



そうですね…!!
頼りない
フィリアを
生涯支えます!

一言多いな!



ほらさっさと
行くぞ!

ちよつと
ヴェネトが
出てる!

あつ待って!
腰をやられてて…

大丈夫ですか?
今夜の為に早く
治さないと!

今夜もするの!?

END